

県立倉吉農業高等学校女子寮防水・外壁改修工事

目		次	
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	表紙・目次	A-16	断面詳細図・目地部分図 S=1/30・S=1/10
A-02	特記仕様書(1)	A-17	仮設計画図・概略工程表 S=1/200
A-03	特記仕様書(2)		
A-04	特記仕様書(3)	M-01	冷暖房設備 女子寮平面図(参考図) S=1/150
A-05	特記仕様書(4)	M-02	冷暖房設備 女子寮立面図・断面図他(参考図) S=1/100 S=1/50
A-06	特記仕様書(5)		
A-07	配置図・付近見取図・工事概要 S=1/1500	E-01	電灯 動力設備 女子寮平面図(参考図) S=1/150
A-08	外部仕上表		
A-09	1階・2階・3階平面図 S=1/150		
A-10	北・東・西側立面図(改修前) S=1/100		
A-11	南側立面図・断面図(改修前) S=1/100		
A-12	北・東・西側立面図(改修後) S=1/100		
A-13	南側立面図・断面図(改修後) S=1/100		
A-14	建具表・建具配置図		
A-15	屋根伏図(防水工事) S=1/100		



建築改修工事仕様書

I. 工事概要

- 1. 工事場所 倉吉市大谷
2. 敷地面積 342.141 m2
3. 地域地区 都市計画地域(内・外) 市街化調整区域(内・外)
4. 建物概要

Table with columns: 番号, 名称, 工事種別, 構造, 階数, 建築面積(m2), 延べ面積(m2). Row 1: 1, 女子寮, 改修, RC造, 3, 342.141, 342.141

II. 建築改修工事仕様

1. 共通仕様

- (1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁部制定「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」(以下、「改修標準仕様書」という。)による。
(2) 請負者は、建築基準法に基づく完了検査(中間検査を含む)の検査には、特定行政庁(建築主事等)が求める検査に必要な資料等(報告書等)を用意する。
(3) 電気及び機械設備工事を本工事に含む場合、電気及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を採用する。

2. 特記仕様

- (1) 項目は番号に○印のついたものを適用する。
(2) 特記事項は○印のついたものを適用する。
(3) 項目に記載「○」の内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 印は、「図等による環境物品等の調達に関する法律」(以下「グリーン購入法」という。)の特定調達品目を示す。
(5) 関係法令(条例を含む)の改正等により、工事内容が法令等に抵触する恐れがあることを認識した場合には、その対応等について、監督職員と協議を行うものとする。
(6) 材料及び製造所等の記載は横不同である。

Main specification table with columns: 項目, 特記事項. Includes sections for ① 一般共通事項, ② 官庁その他への手続, ③ 電気保安技術者, ④ 工事安全計画書, ⑤ 発生材の処理等, ⑥ 環境への配慮.

① 材料の品質等

- 3) ホルムアルデヒド放散量の区分において、第三種とは次の①又は②に該当する材料を指す。
① 建築基準法施行令第20条の第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料
② 建築基準法施行令第20条の第7項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

- 材料・機材等の品質及び性能
1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能他、通常すべき品質及び性能を有するものとする。
2) 備考欄に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
4) 本工事に使用する材料のうち、5)に指定する材料の製造業者等は、次の①～⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料(外部機関が発行する証明書の写し)を監督職員に提出して承諾を受けるものとする。
① 品質及び性能に関する試験データが整備されている。
② 生産施設及び品質の管理が適切に行われている。
③ 安定的な供給が可能である。
④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得している。
⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性がある。
⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられている。
5) 製造業者等に関する資料の提出を定める材料

Table with columns: 床型枠用鋼製デッキプレート, 鉄骨柱下無収縮モルタル, 無収縮グラウト材, 既設コンクリート, ルーフドレン, 吸水調整材, 経路管, クローザ類, 自動巻機, 自閉式上り引戸機構, 重量シャッター, 軽量シャッター, オーバーヘッドドア, 防水剤

② 石綿含有建材の調査

- 調査
※石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う
資与資料(7/24)採取・分析報告書
分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクテノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイト、クロシドライト、トモモライト
分析方法
材料名 分析方法(定性) 分析方法(定量)
JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2 JIS A 1481-3又はJIS A 1481-4

③ 施工数量調査

- 調査範囲 ⑥外壁(庇、笠木共) ・屋根 ・図示
調査方法 ※テストハンマーによる打診及び目視 ・図示
外壁調査は、外壁改修フローに対応する外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量(幅、長さ、面積)の調査を行う。
屋根調査は、防水面のひび割れ、浮き、欠損部、目地欠損部及び雨漏りの有無についての位置及び数量(幅、長さ、面積)の調査を行う。
また、その報告書は、調査結果を立面図等に記載し集計表を添えて監督職員に2部提出する(必要に応じて写真等を添付する。)

④ 調査のための破壊部分

- 1.1.6.3
補修方法 ※ 図示

⑤ 技能士

- 1.1.7.2
下表により適用する技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をするとともに、他の技能士に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行う(技能士：職業能力開発促進法による一般技能士又は第一等級の資格を有する者)
また、その技能士はその者が技能士であることがわかる名札(下図参照)を常時着用する

Table with columns: 工事種別, 技能検定職種, 及び, 及び作業. Includes sections for 仮設工事, 防水改修工事, 外壁改修工事, 建築改修工事, 内装改修工事, 表装, 左官, タイル張り

12 化学物質の濃度測定

- 1) 測定対象室のホルムアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンの室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告する。
測定対象室()
2) パンツ型採取機器を用いて測定を行う場合には、次の要領で測定及び分析を行う。
測定対象室のすべての窓及び扉(造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉を含む)を開放し、30分間換気する。
測定対象室のすべての窓及び扉(造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉を含む)を開放し、30分間換気する。
②5時間閉鎖
①の状態で、測定対象室すべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする。
③測定
イ ②の状態のまま測定する。
ロ 測定時間は、原則として2.4時間とする。ただし、工程等の都合により、2.4時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう、1.0時30分～1.8時30分までの時間帯で測定する。
ハ 測定回数1回とし、複数回の測定は不要とする。
④分析
測定対象化学物質を採取したハンパ型採取機器を分析機関に送付し、濃度を分析する。
⑤その他
監督職員から測定方法に関する注意事項等の指示を受ける。

① 完成写真

Table with columns: 区分, 分類・規格, 撮影箇所, 部数, 備考. Includes sections for 工事記録写真, 完成写真, カラーキャビネット, パネル

② 完成時の提出図書

- 1.1.9.1.2
下記ものを監督職員に提出する
原因A1版又はA2版(設計図の第2原図訂正不可) 部
※CADデータ 1式
※原因の大型コピー(白紙)の2つ折製本 2部
※縮小版2つ折製本(A4版) 2部
※複写 縮小版A3バラ焼 部
完成図の種類及び内容(改修前後の状態が分かるように整備する)
○ 案内図・配置図：配置図には外構整備、屋外給排水系統図を含む
○ 改修概要図：改修概要、部位等を表示する
○ 平面図：室名、耐震壁(防火壁)、避難施設等を表示する
○ 立面図：外壁仕上、補修範囲等を表示する
○ 断面図：階高、天井高等を表示する
○ 仕上表：屋外、屋内(各階)の仕上表を表示する
○ 構造図：杭、構造躯体等を表示する
・ その他：()
・ 原因ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼付する

15 設備工事との取り合い

Table with columns: 設備工事との取り合い, 建築, 電気, 機械. Includes sections for コンクリート壁、床、床裏通部, 設備工事の開口及び補修, 照明器具・幹線等の吊りボルト, 軽量鉄骨等のボックス取付用下地, 壁の切込加工、下地の補修, 壁の切込加工、下地の補修, 壁の切込加工、下地の補修

① 撤去部分

- コンクリート、モルタル等の撤去部分の項目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする。ダイヤモンドカッター切り深さ(※30mm程度)

① 適用区分

- 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
基準風速 V0 = 30m/s
地表面粗度区分 ・ I ・ II ・ III ・ IV
積雪区分 平成12年5月31日建設省告示第1455号 別表()

① 保全に関する資料

- 1.1.9.3
下記のものをA4版ファイルに製本して監督職員に提出する。
○ 主な主要資材、機器等のメーカー及び施工者一覧表
・ 機器性能試験成績書及び取扱説明書
○ 保証書
・ 官公署届出書類(保守に必要とするもの)
・ 建築物の保守に関する説明書、指導案内書

① 火災保険等

- 工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補正するための火災保険等に加入する。(保険の加入期間は、工事完成引き渡しまで(概ね工期+2日)とする。)

20 環境配慮

- 鳥取県公共事業環境配慮指針 ※ 対象工事 ・ 非対象工事

21 建設リサイクル法

- ※ 対象工事 ・ 非対象工事

22 鳥取県福祉のまちづくり条例

- ※ 対象工事 ・ 非対象工事

23 景観形成条例

- ※ 対象工事 ・ 非対象工事

24 建築物省エネ法

- ※ 対象工事 ・ 非対象工事

② 仮設工事

- ① 騒音・粉じん等の対策
2.1.1.3
騒音・粉じん等の対策 ・ 防音パネル ・ 防音シート
防音パネル、防音シートを取り付ける足場の設置範囲
※ 工事に必要な範囲
足場その他
2.2.1
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用方式により行う。
外部足場 ○設置する(範囲 ※工事に必要な範囲) ・ ○設置しない
防護シート ○設置する(範囲 ※工事に必要な範囲) ・ ○設置しない
内部足場 ○設置する(※別記、足場板等) ・ ○設置しない
材料、撤去材等の運搬方法 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種
○C種：利用可能なエレベーター()
○D種：利用可能な階段()
養生方法等
○既存部分の養生方法 ※ビニルシート、合板等による
○既存家具、既存設備等の養生方法 ※ビニルシート等(取外し再取付けを行う)
・ 既存フラインド、カーテン等の養生方法 ※ビニルシート等(※機内既設機内)
・ 固定された家具等(備品、机、ロッカー等)の移動 ※行う(図示)
既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれがある場合は養生を行う。また、万一損傷を与えた場合は、発注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

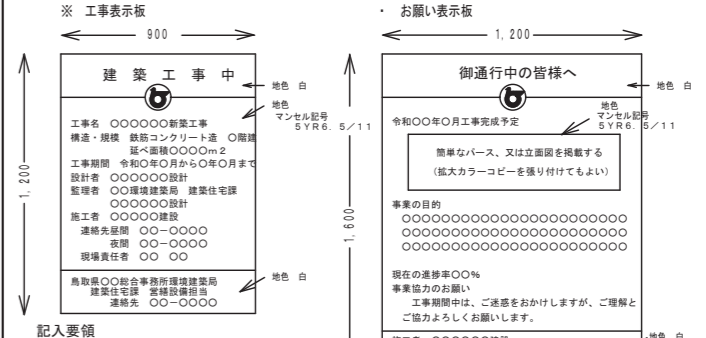
④ 仮設間仕切り

- 2.3.2
仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ※図示
仮設間仕切りの種類と材質等
・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ 図示
A、B種の仕上り材 ※石こうボード(GG-R 厚さ9.5mm) ・ 合板(普通合板 厚さ9mm)
A、B種の片面への塗装等 ・ 行う ※行わない
A種のガラスウール等の充填材
※ 行う (JIS A 6301ガラスウール吸音材 2号32K 厚50mm)
・ 行わない
仮設扉の種類 ※木製(合板厚り程度) ・

5 監督職員事務所

- 2.4.1
※ 設ける m程度 ・ 設けない
現場に設置する備品等は、現場説明書の施工条件明示事項による。
・ 既存建物内の一部を使用する(場所)
・ 構内に新設する 規模(m)

⑥ 表示板



⑦ 工事用水

- 構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる(※ 有償 ・ 無償)

8 工事用電力

- 構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる(※ 有償 ・ 無償)

9 工事用仮設物

- 構内既存の施設 ○ 利用できない ・ 利用できる

10 工事現場のイメージアップ

- ① 降雨時に対する養生方法
3.1.3
※改修標準仕様書3.1.3(5)⑦～⑨)による。
② 既存防水層の処理
既存防水層の撤去 行う(範囲 図示) ・ () ・ 行わない
既存防水層の撤去 ○ 行う(範囲 ○ 図示) ・ () ・ 行わない
露出防水層表面の仕上げ塗装の除去
・ 行う(※ M45 ・ M45I ・ M4C ・ M4D1 ・ L4X)
○行わない
改修用ドレン
○設ける(・ PDAS ・ POAS1 ・ POD ・ POD1 ・ POS ・ POS1 ・ POD)
・ 設けない



石綿含有建材の除去工事
[9.1.1]
[9.1.3~6]

※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者であること。
施工調査
○石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。
調査範囲 ()
○図示
貸与資料 (7/24)採取・分析報告書
分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクリノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリノタイル、クロソライト、トレモライト
分析方法
材料名 定性分析 定量分析
JIS A 1481-3X12JIS A 1481-2 JIS A 1481-3X12JIS A 1481-4
測定時期、場所及び測定点
適用 測定名称 測定時期 測定場所 測定点 (各施工箇所ごと)
測定1 処理作業前 処理作業室内 計点
測定2 調査対象室外部の付近 計点
測定3 処理作業中 処理作業室内 計点
測定4 セキュリティーゾーン入口 計点
測定5 業じん・排気装置の排出口 (処理作業室内の場合) 出口吹出し風速1m/sec以下の位置 計点
測定6 処理作業室外 計点
測定7 処理作業後 処理作業室内 計点
測定8 処理作業後 (シート養生中) 処理作業室内 計点
測定9 (シート除去後 1週間以降) 調査対象室外部の付近 計点
測定方法
自動測定機による測定
測定名称 測定方法
測定4 粉じん箱対湿度計 (デジタル粉じん計)、パーティキュルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定
JIS K 3850-11に基づいた測定
測定名称 メンブレンフィルタ重量 (mm) 試料の吸引流量 (l/min) 試料の吸引時間 (min)
測定4 測定5 測定 () 25 5 30
測定 () 47 10 120
測定 () 47 10 240
石綿含有建材の処理
石綿含有吹き付け材の除去
除去対象範囲 ※図示
除去工法 ※改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による
除去した石綿含有吹き付け材等の飛散防止措置 ※湿潤化 ・セメント固化)
除去した石綿含有吹き付け材等の処分
・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)
石綿含有保温材等の除去
除去対象範囲 ※図示
除去工法 ※原形のまま、手ばらし ・破砕して除去
除去した石綿含有保温材の処分
・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)
石綿含有成形板等の除去
除去対象範囲 ※図示
除去した石綿含有成形板の処分
・石綿含有石こうボード
※埋立処分(管理型最終処分場)
・石綿含有石こうボードを除くアスベスト含有成形板
・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)
石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板(下地調整材)の除去
下記以外は、改修標準仕様書9.1.1及び9.1.2による
除去工法
※石綿障害予防規則(平成十七年二月二十四日厚生労働省令第二十一号)第6による条措置と同時に以上の効果を有する措置とされる工法
・業じん装置併用手工ケレン工法
・業じん装置付き高圧水洗工法(15MPa以下、30~50MPa程度)
・業じん装置付き超高圧水洗工法(100MPa以上)
・超音波ケレン工法 (HEPAフィルター付き掃除機併用)
・剥離剤併用手工ケレン工法
・剥離剤併用高圧水洗工法(30~50MPa程度)
・剥離剤併用超高圧水洗工法(100MPa以上)
・剥離剤併用超音波ケレン工法
・業じん装置付きディスクグラインダーケレン工法
除去対象範囲 ※図示
作業場の隔離 ※行わない ・行う
試験施工 ※行わない ・行う
除去した石綿含有仕上塗材の処分
・埋立処分(安定型最終処分場) ・埋立処分(管理型最終処分場)
・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)
除去した石綿含有仕上塗材の保管、運搬及び処分 ※改修標準仕様書9.1.3(3)による確認及び後片付け ※改修標準仕様書9.1.3(4)の(7)、(9)、(8)及び(9)による
石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ※図示
石綿作業主任者
特定科学物質等作業主任者技術講習を終了した者の内から選任する。
特別管理産業廃棄物管理責任者
保温材については、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を選任し管理させる。

2 外断熱改修工事
[9.2.1~4]

断熱材
種類 厚さ(mm)
・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材
・押出法ポリスチレンフォーム保温材(スキンなし) ・保温板(2種b)
・保温板(3種b)
・A種硬質ウレタンフォーム保温材
・フェノールフォーム保温材(3種2号を除く)
・ロックウール
・グラスウール
施工箇所 ・図示
ホルムアルデヒド放数量 ※☆☆☆☆
外装材
種類 防火性能 備考
既存外壁の処理
既存外壁仕上げ材の除去 ・あり ・なし
下面の清掃 ・行う ・行わない
欠損部の改修工法 ※改修標準仕様書4.1.4による
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法
不陸等の下地調整 ・図示
通気層の有無 ・有 (mm) ・無
断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け
※断熱材及び外装材製造所の仕様による
フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆
断熱材打込み工法
種類 厚さ(mm) 施工箇所
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 ・2種b A ・25 ・外壁
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材 ・3種b A ・25 ・スラブ
(スキン層なし)
・硬質ウレタンフォーム断熱材 ・25 ・
・フェノールフォーム断熱材 ・25 ・
・ビーズ法 ・ ・
・ポリスチレンフォーム保温材 ・ ・
・押出法ポリスチレンフォーム保温材(スキンなし) ・保温板(2種b) ・25 ・
・保温板(3種b) ・25 ・
・土間
・A種硬質ウレタンフォーム保温材 ・ ・
・フェノールフォーム保温材(3種2号を除く) ・ ・
施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による
断熱材現場発泡工法
断熱材の種類 ※A種1 ・A種1H
厚さ(mm) ・25 ・36
施工箇所
※窓回り等の断熱材補修部分、ルーフレン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所
・図示
現場発泡断熱材
品質性等
難燃性 下記のいずれかによっていること
1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。
2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験(コークローリー試験)に適合していること。
発熱性 準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の1)~3)に適合していること。
1) 総発熱量が9MJ/m²以下であること。
2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。
3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KJ/m²を超えないこと。
試験方法
イ. 原液試験(原液粘土試験)
JIS K 7117-1「フタリ」液状、乳濁状又は分散状の樹脂「ポリアクリル」形固形粘度計
JIS K 7117-1「フタリ」液状、乳濁状又は分散状の樹脂「ポリアクリル」形固形粘度計による見掛け粘度の測定方法」による。
ロ. 発泡品試験
1) 試料の作成は、JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.1による。
2) 試料の状態調節は、JIS A 9526の6.2.2による。また、試験片の作成はJIS A 9526の6.2.3による。
3) 試験片の状態調節及び試験場所は、JIS A 9526の6.2.4による。
4) 圧縮強さ試験は、JIS A 9526の6.2.5による。
5) 熱伝導率試験は、JIS A 9526の6.2.6による。
6) 接着強さ試験は、JIS A 9526の6.2.7による。
7) 透湿率試験は、JIS A 9526の6.2.8による。
ハ. 難燃性の試験は、下記のJIS A 1321に規定する表面試験及び発熱性試験による。
1) 難燃性の試験については、JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。
2) 発熱性試験は、建築基準法に基づく指定性能評価機関が準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している試験方法に準じる。
断熱材後張り工法
断熱材の種類 ()
断熱材の厚さ (mm)
断熱材にせこうボード等を張り付けたパネル(材質 厚さ mm)
張り付け工法
断熱材の張り付け工法
断熱材へのボードの張り付け工法

4 屋上緑化改修工事
[9.4.2~4]

植栽基盤及び材料
・屋上緑化軽量システム
芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示
見切材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示
品質性等
透水、排水層等構成材の主要材質は、合成樹脂等が耐腐食性及び耐久性のあるものであること。(保水層を有する場合は、保水層共)
透水層は、自然により植物の生育に支障を生じることがなく、排水込み用土を流出させない構造であること。
排水層は、植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び排水込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。
排水層の鉛直方向の排水性能: 240L/m²/h以上
耐荷重性能(排水層の許容圧縮強度)は、3×10⁴N/m²以上の載荷重で破壊・有害なひずみなど異常のないこと。(保水層を有する場合は保水層共) また、一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。
耐根層は、重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。
耐根層保護層の材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート(絶縁シートも含む)の下に設ける場合は省略することができるものとする。
(試験方法)
イ. 排水基盤の耐荷重性能
1) 3×10⁴N/m²の等分布荷重による加圧試験を行ない、排水層及び耐根層等に有害な変形・破壊の起きないことを確認する。又その時の圧縮応力に対する歪み(%)を測定する。(保水層を有する場合は保水層を対象とする。)
2) 試験体は耐根層から透水層までを通常使用状態にセットした3体とする。
加圧速度は10mm/min以下とする。
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法
かん水装置 ・設置する(種類)
既存保護層の撤去 ・行う ・行わない

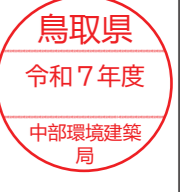
10 その他

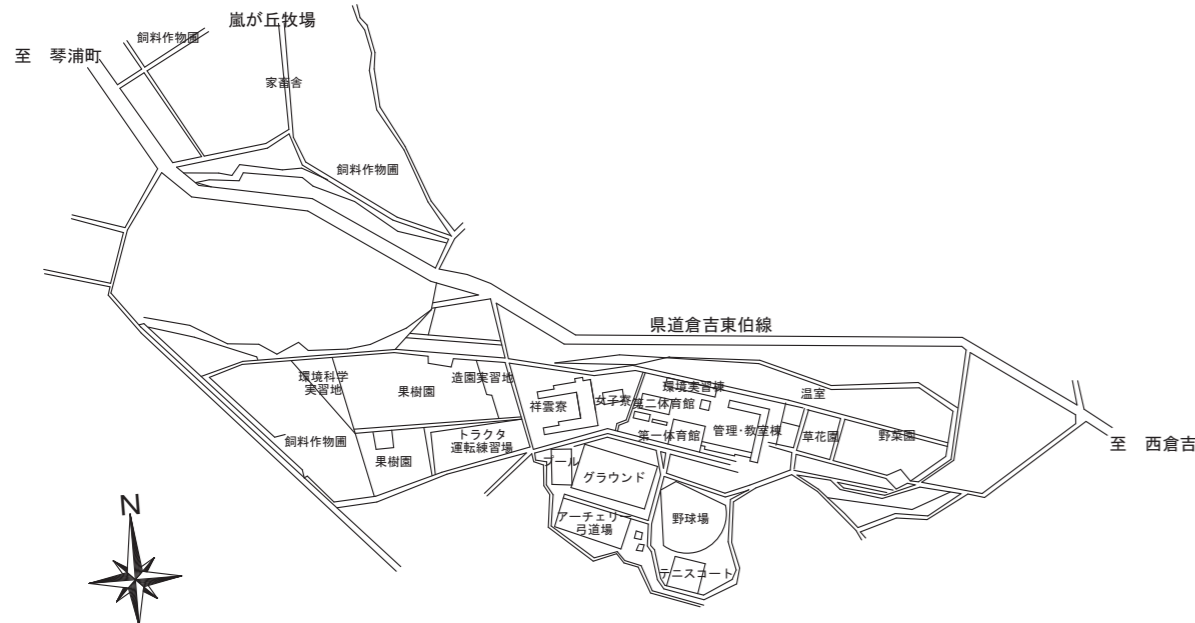
3 ブラインド
(20.2.14)
形式 操作方法 種類 スラットの材質 スラット幅(mm) ボックス レールの材質 幅・高さ 取付箇所
・手動 ※ギア式 ※アルミニウム ※25 ※鋼製 ・図示
・コード式 合金製 G
・操作棒式
・電動 -
・手動 ※2本操作 ※アルミスラット ・80 アルミニウム ・図示
・コード式 ・クロスラット ・100 合金製
・1本操作
・コード式
・電動 -
アルミスラット 横付け塗装仕上げ
クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は G とする。

4 ロールスクリーン
(20.2.15)
材質 操作方式 遮光性能 寸法(mm) 取付箇所 備考
・ガラス繊維製 ・電動式 ・1級 ・図示
・合成・天然繊維製 ・スプリング式 ・2級
・木製 ・チェーン式 ・3級
・製造所の仕様
遮りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料

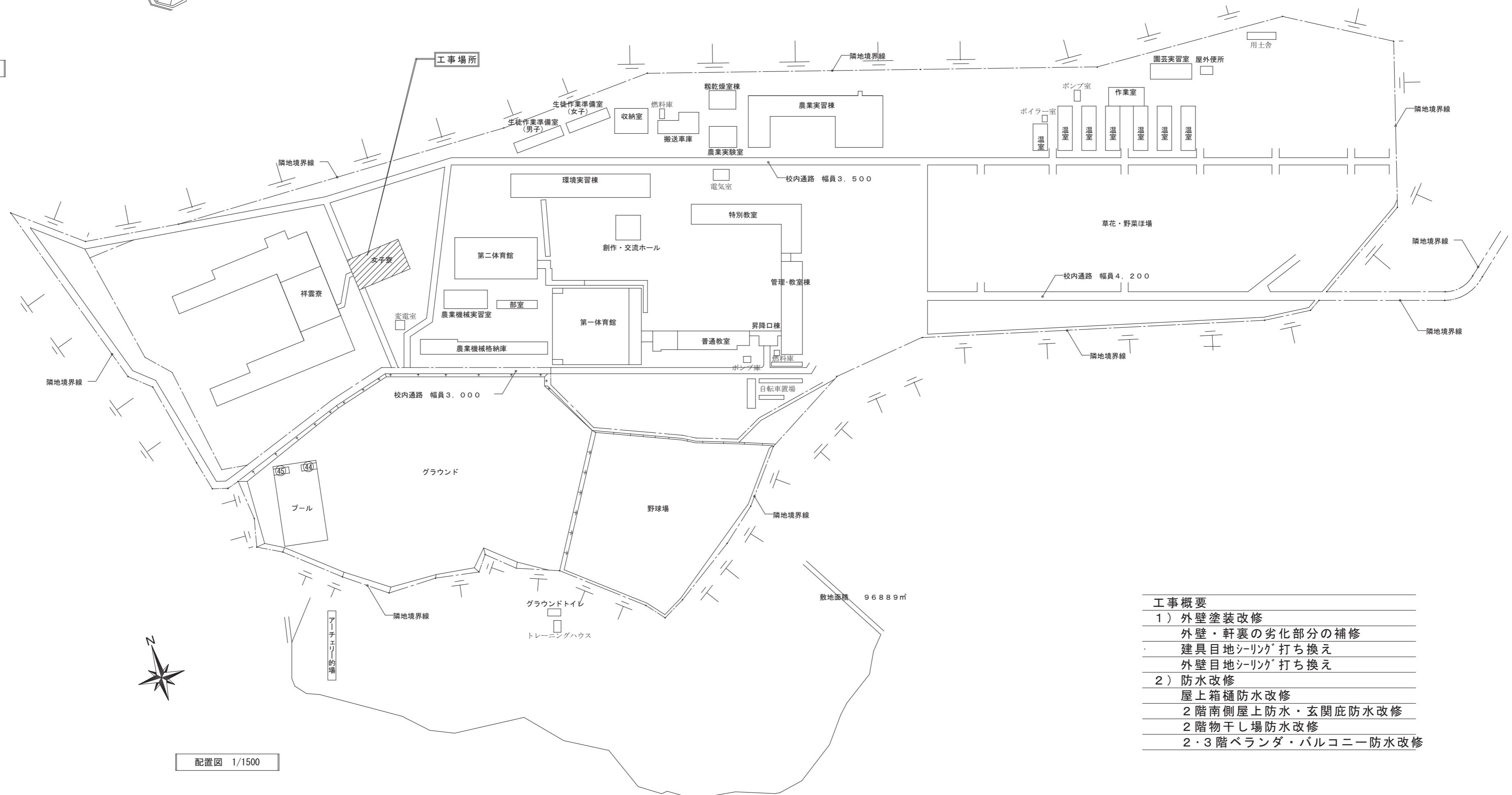
5 カーテン及びカーテンレール
(20.2.16)
カーテン
形式 開閉操作 ひだの種類 生地の種類、品質、特殊加工等 取付箇所 備考
・シングル ・片引き ・つまみひだ ・遮光1級 ・図示
・ダブル ・引分け ・ひも引き ・簾ひだ、片ひだ
・電動 ・ブレースひだ
カーテンレール
材質 ※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材
・ステンレス製
形式 ・シングル ・ダブル
・片引き ・引分け
強さによる区分 ※ 10-90
仕上げ ※アルマイト
形状 ※角形

(備考)





付近見取図



配置図 1/1500

- 工事概要**
- 1) 外壁塗装改修
 - 外壁・軒裏の劣化部分の補修
 - 建具目地シーリング打ち換え
 - 外壁目地シーリング打ち換え
 - 2) 防水改修
 - 屋上箱樋防水改修
 - 2階南側屋上防水・玄関庇防水改修
 - 2階物干し場防水改修
 - 2・3階ベランダ・バルコニー防水改修



外部仕上げ表					
大屋根 (R階)	改修前	(既存のまま) 珪藻土 0.45t 横置き アスファルトフィング 22kg スカイモルタル40t下地	縦樋	改修前	(既存のまま) VP100φ
	改修後			改修後	
軒裏 (庇・バルコニー)	改修前	外装薄塗材E(アクリルシリコン)吹付 コンクリート打ち放し下地	軒樋 (R階)	改修前	加硫ゴム系防水シート1.2t(非歩行用) 防水樹脂金コ下地
	改修後	外装薄塗材E吹付 高圧洗浄(30~50Mpa) 下地調整塗材C-1		改修後	既存防水(加硫ゴム系シート)撤去後 改質アスファルト防水常温工法 C-2(非歩行用) トップ:シリカ - 改修用ドレン共
外壁 (1階~3階)	改修前	複層塗材RE(吹付タイプRE:下地にAS含有) コンクリート打ち放し下地	7&S手摺 (バルコニー)	改修前	(既存のまま) 7&S手摺目隠しパネル
	改修後	複層塗材RE(吹付タイプRE)吹付 高圧洗浄(10~15Mpa) 下地調整塗材C-1		改修後	
床・巾木・小巾溝 (バルコニー①) (9ヶ所) (バルコニー①) (1ヶ所)	改修前	防水樹脂金コ下地	換気パイプ	改修前	(既存のまま) 換気パイプ 50φ 小屋裏換気パイプ 150φ
	改修後	既存防水樹脂高圧洗浄(10~15Mpa)後、ウレタン塗膜防水 (X-2 露出密着工法) 改修 (歩行用) 防滑仕上		改修後	
床・巾木・小巾溝 (バルコニー②) (7ヶ所)	改修前	ウレタン塗膜防水 防水樹脂金コ下地	外部手摺 (1階)	改修前	(既存のまま) スチール42.5φ
	改修後	既存ウレタン塗膜防水高圧洗浄(10~15Mpa)後、ウレタン塗膜防水 (X-2 露出密着工法) 改修 (歩行用) 防滑仕上		改修後	
床・巾木・小巾溝 (物干し) (1ヶ所)	改修前	塩ビ樹脂系シート 2.0t(歩行用) 防水樹脂金コ下地	鉄骨外部階段 (1階~3階)	改修前	(既存のまま) 外部階段(溶融亜鉛メッキ)
	改修後	既存防水(塩ビシート)撤去後 <平場> 改質アスファルト防水常温工法 C-1(歩行用) 硬質ウレタン塗床 防滑仕上 トップ:珪 - 改修用ドレン共 <立上> 改質アスファルト防水常温工法 C-1(非歩行用) トップ:珪 -		改修後	
床・小巾溝 (南側庇) (1ヶ所) (玄関庇) (1ヶ所)	改修前	塩ビ樹脂系シート 1.5t(非歩行用) 防水樹脂金コ下地			
	改修後	既存防水(塩ビシート)撤去後 改質アスファルト防水常温工法 C-1(非歩行用) トップ:珪 - 改修用ドレン共			
基礎廻り (建物)	改修前	モルタル塗り仕上			
	改修後	高圧洗浄(10~15Mpa)			
基礎廻り (スロープ部分)	改修前	化粧型枠コンクリート打ち放し			
	改修後	高圧洗浄(10~15Mpa)			

特記事項

・既存7&S含有建材について (令和7年調査済: 塗装下地に7&S含有)

7&S含有: 外壁吹付材

7&S不含有: 軒裏吹付材、外壁目地シーリング、サッシ廻りシーリング

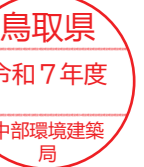
・外壁目地(躯体目地及び一部縦目地)、サッシ廻りのシーリングは撤去する、目地のシーリングはMS-2とする。

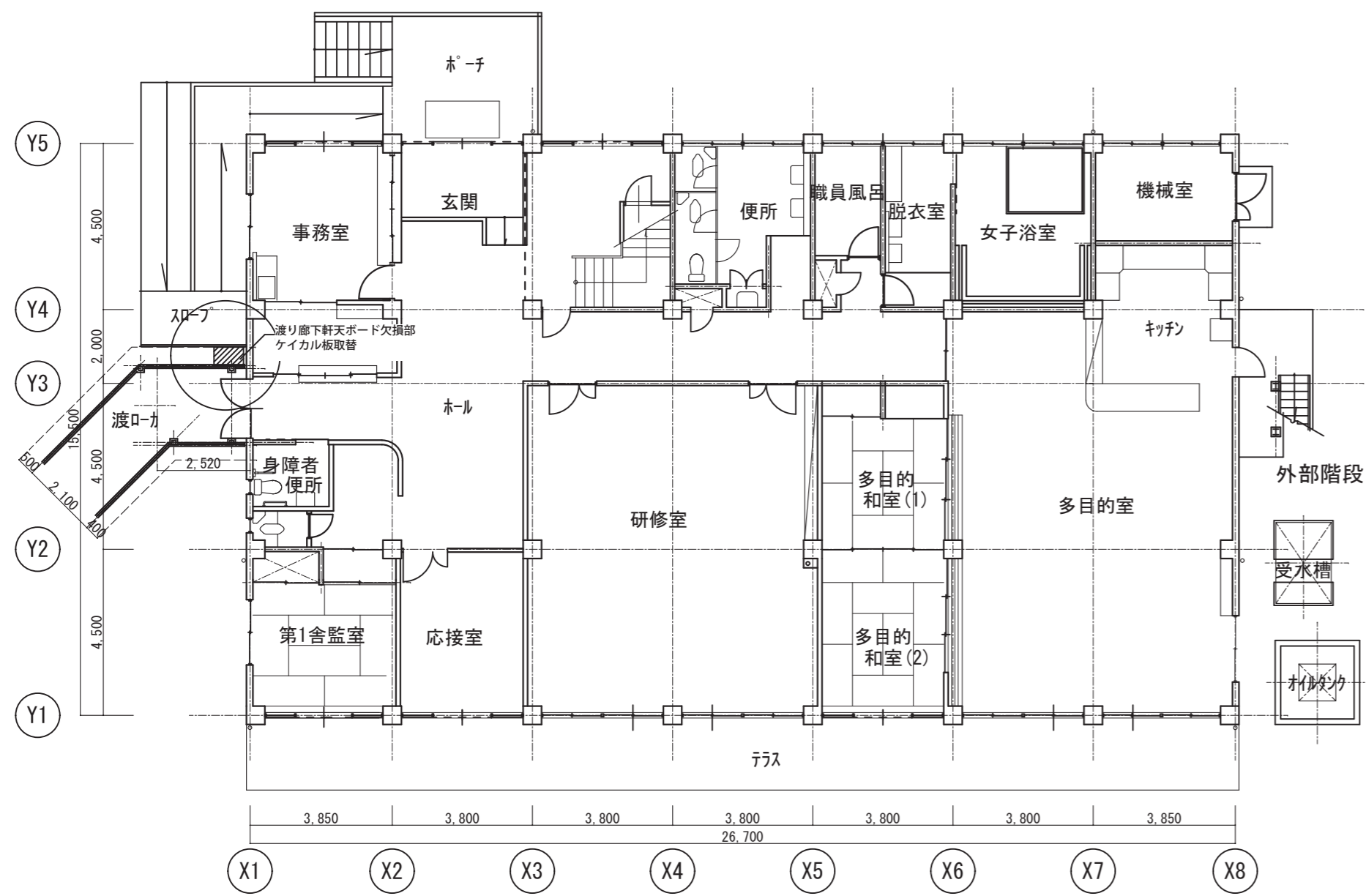
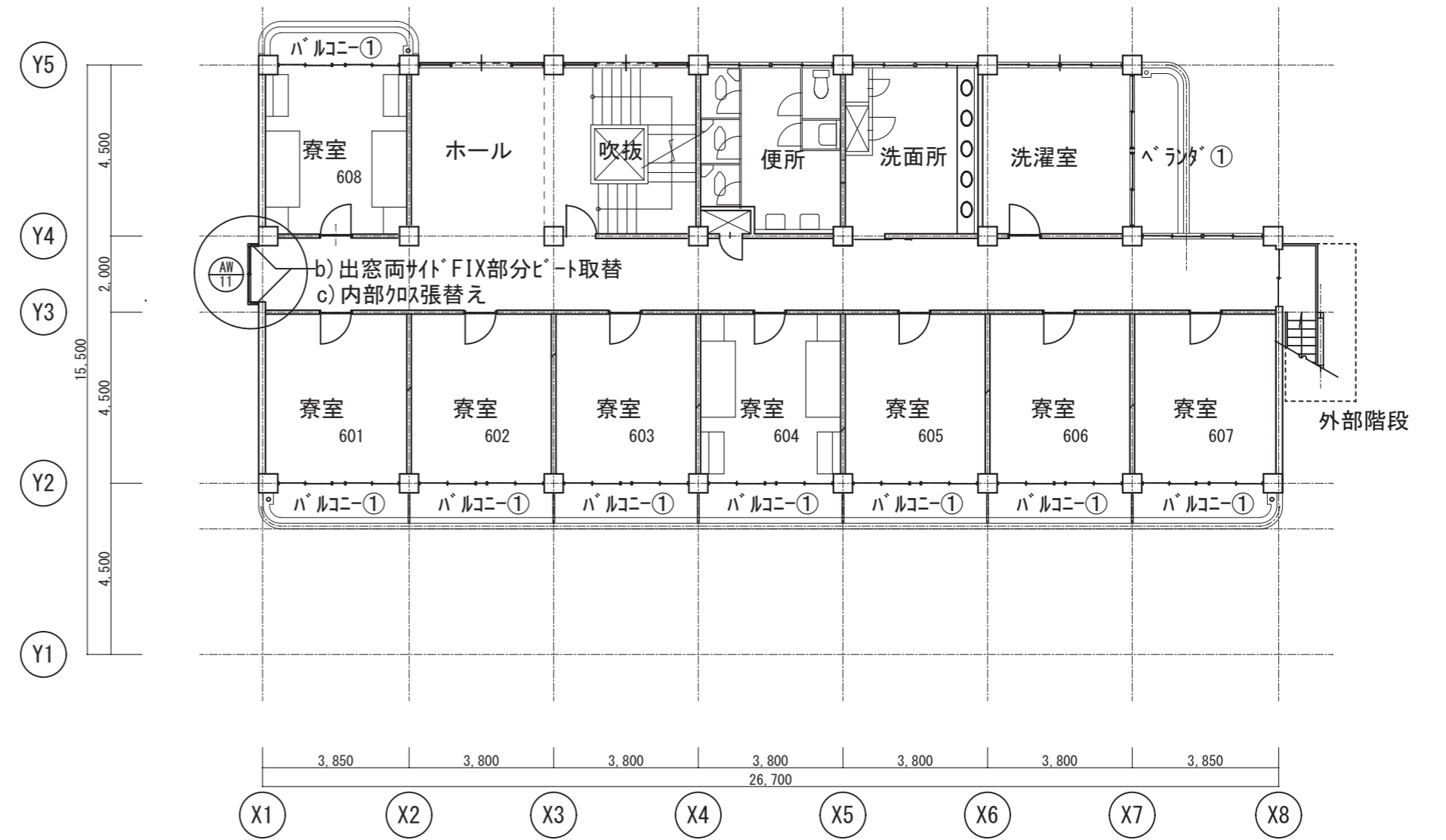
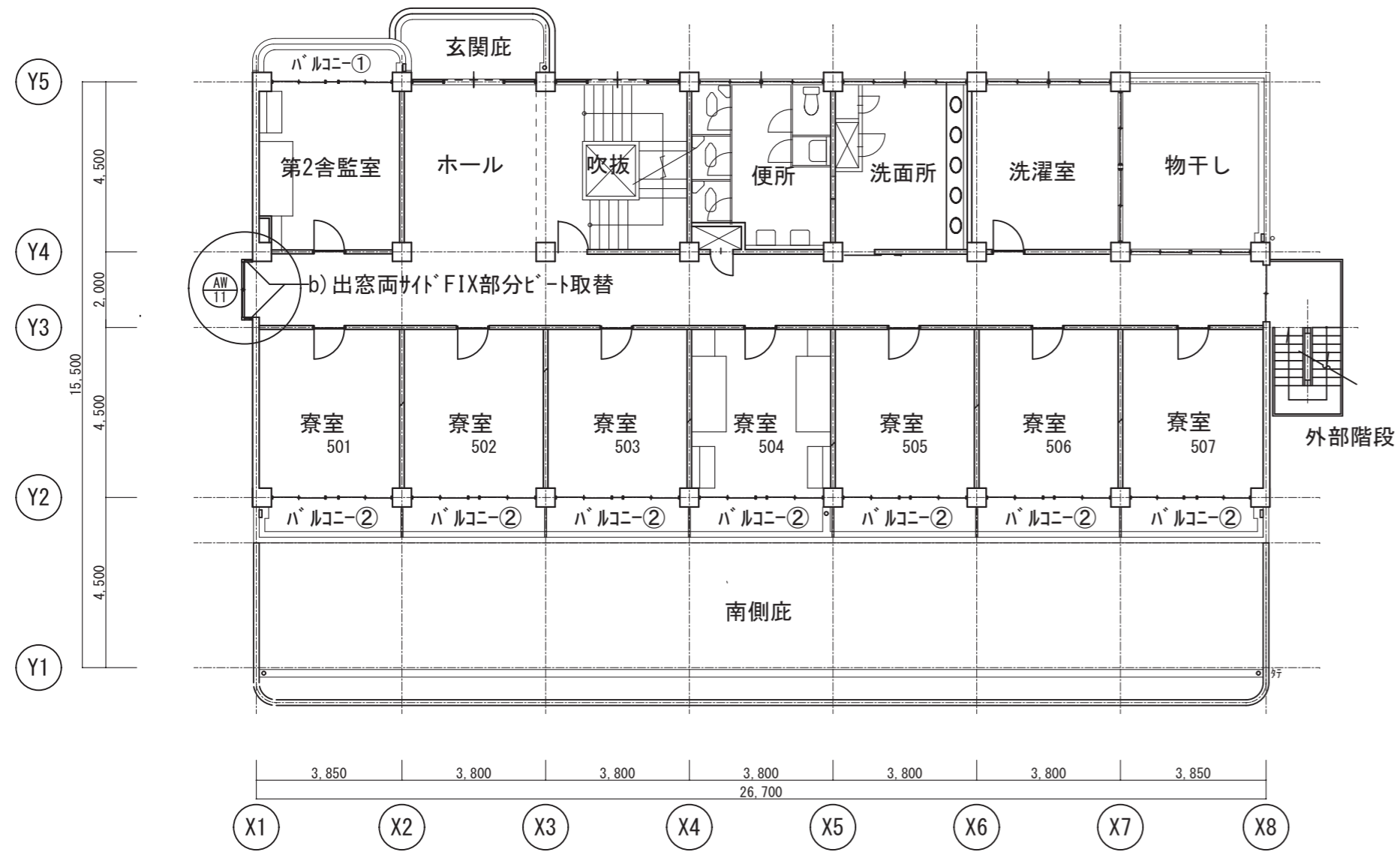
(注) シーリング撤去のさい外壁吹付材下地に7&S含有

・ひび割れ、欠損、剥離の数量は参考数量であり、現地調査により増減が生じた場合は監督員と協議すること。

・外壁改修については現地調査を行い、補修範囲、工法を監督員と協議決定すること。

・大気汚染防止法、鳥取県石綿健康被害防止法条例に基づき撤去すること。





雑工事

- a) 渡廊下軒天ケイカル板6t EP 取替(バブル3対応) (塩ビフタ共) 0.5m×0.8m=0.4㎡
- b) 2・3階 AW-11出窓両サイドFIX部分ビード取替(建具表参照:A-14)
- c) 3階 AW-11内部クロス張替え(建具表参照:A-14)



Project 県立倉吉農業高等学校女子寮防水・外壁改修工事
 Title 1階・2階・3階平面図 S=1/150

Designed by (有) エイディエム設計研究室
 〒682-0814 鳥取県倉吉市米田町877-1
 一級建築士 里見泰男 登録番号 第128367号
 一級建築士 市村幹男 登録番号 第202784号
 TEL 0858-22-7717 FAX 0858-23-5315



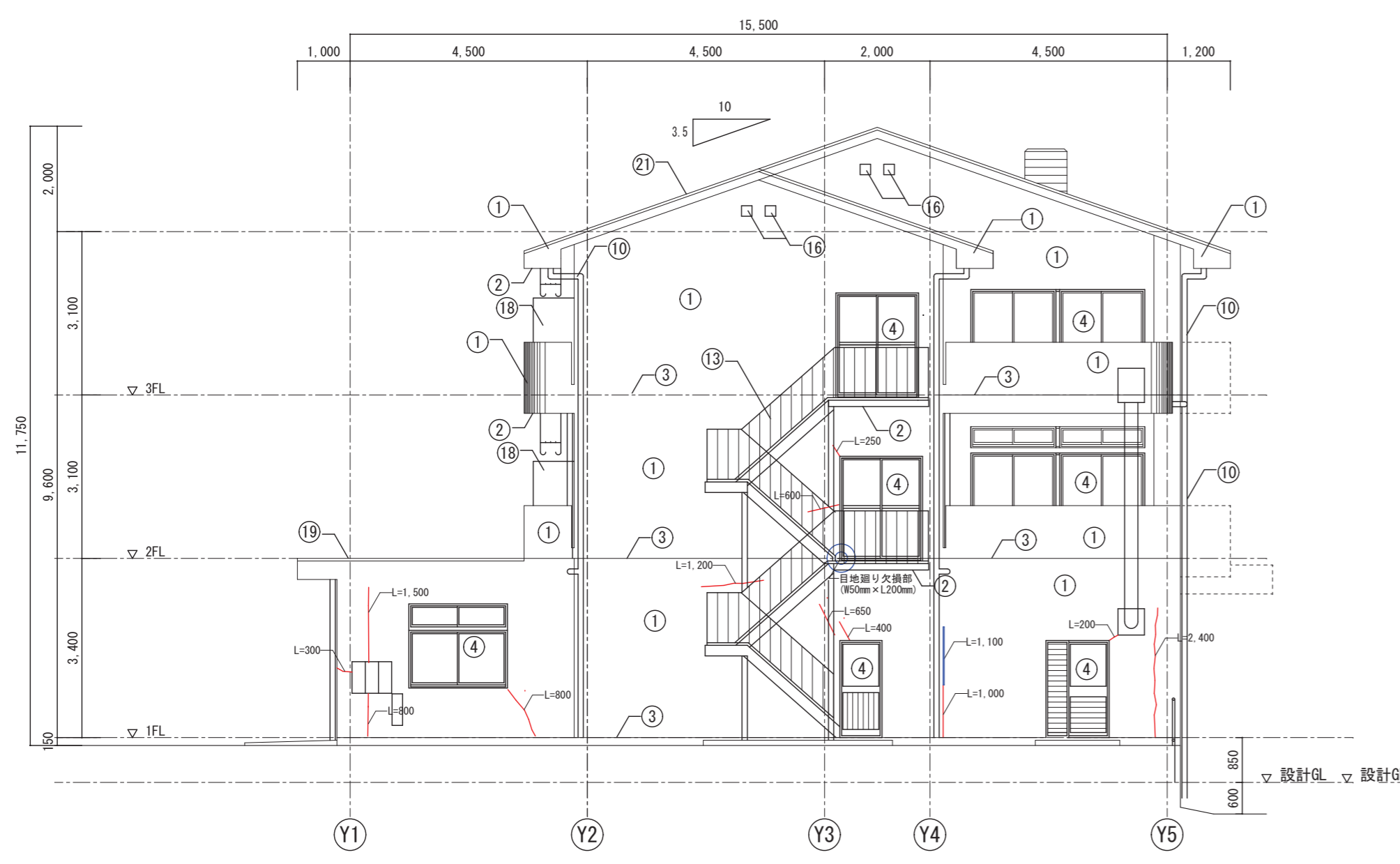


北立面図

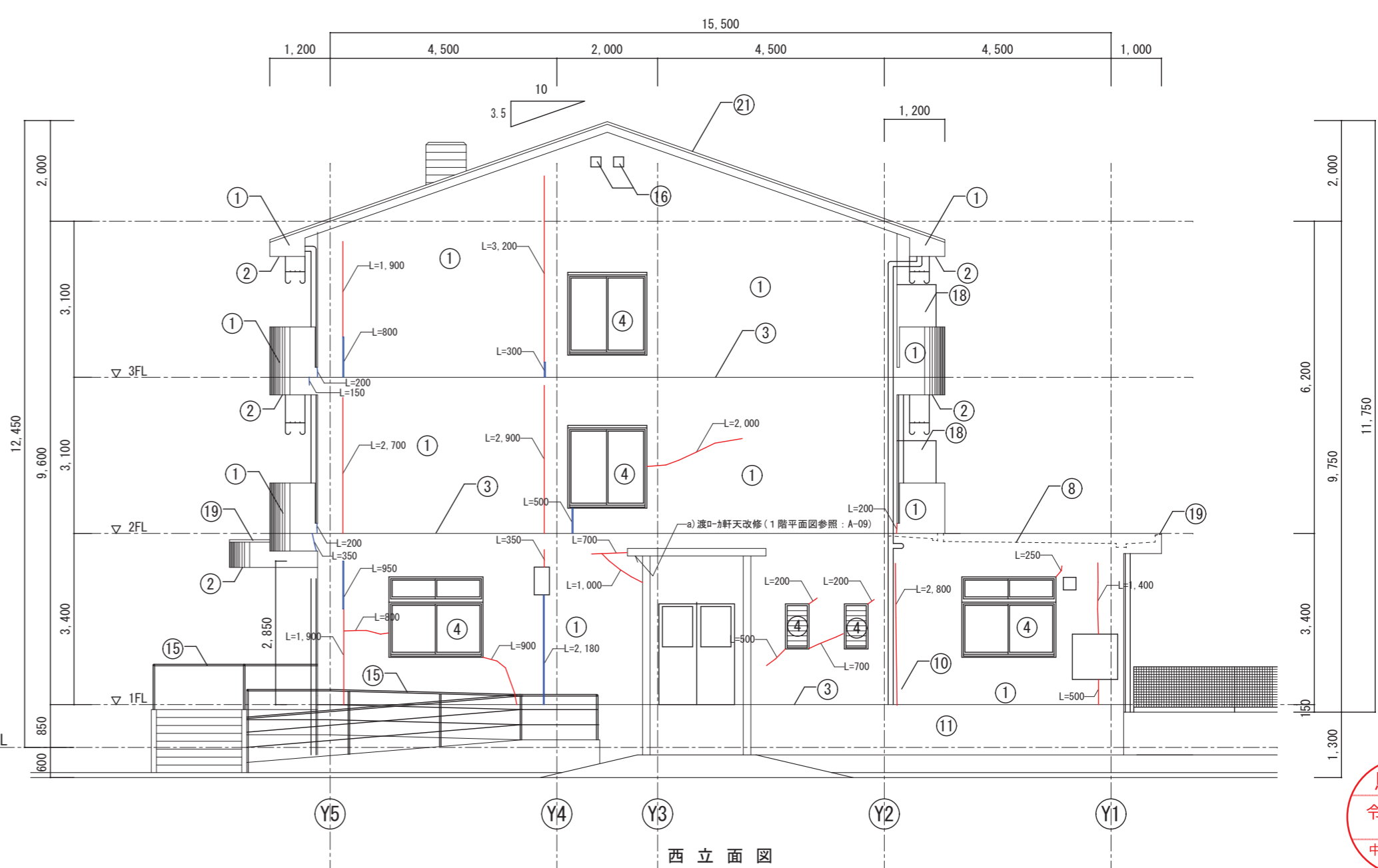
番号	改修部位	改修前	改修後
①	外壁	複層塗材RE(吹付)ARE: 下地AS含有)コンクリート打ち放し下地	外壁改修
②	軒裏	外装薄塗材E(フキリシツ) コンクリート打ち放し下地	外壁改修
③	外壁目地	外壁目地シーリング(20×15)	防水改修
④	7&8サツ廻り目地	7&8サツ廻り目地シーリング(15×10)	防水改修
⑤	床・中木・小巾溝	防水モルタル金下地	防水改修
⑥	床・中木・小巾溝	UVシールド防水(歩行用) 防水モルタル金下地	防水改修
⑦	床・小巾溝	塩ビ樹脂系シート 2.0t(歩行用) 防水モルタル金下地	防水改修
⑧	床・小巾溝	塩ビ樹脂系シート 1.5t(非歩行用) 防水モルタル金下地	防水改修
⑨	箱樋(R階)	加硫'LS系'フイグ'シート1.2t(非歩行用) 防水モルタル金下地	防水改修
⑩	縦樋	VP100Φ(ケー)	既存のまま
⑪	基礎廻り	コンクリート打ち放し	外壁改修
⑫	基礎廻り(化粧型枠)	コンクリート打ち放し	外壁改修
⑬	鉄骨階段	溶融亜鉛メッキ	既存のまま
⑭	ハルコ-手摺	7&8製+目隠しハ' 6t	既存のまま
⑮	スロー-手摺	ステンレス製 42.5Φ	既存のまま
⑯	小屋換気フード	ハ'イ' 150Φ(SUS7-ド'付)・ハ'イ' 75Φ(防虫網付)	既存のまま
⑰	天井換気ハ'イ	ハ'イ' 50Φ(防虫網付)	既存のまま
⑱	隔壁ハ' 6t	ケイ化板6t AE塗	既存のまま
⑲	庇7&8押え金物	7&8製木W=175	防水改修
⑲	箱樋押え金物	7&8製押え金物	防水改修
⑲	屋根	ガラスフェリス 0.45t 横葺き	既存のまま
⑲	A/C室外機	室外機ユニット(16機)	防水改修

	ひび割れ >1.0mm
	ひび割れ 0.2mm~1.0mm
	モルタル修補部浮き部分
	軒裏塗装剥離
	事前クラック補修跡 W=20mm程度
	欠損部分

特記事項
 ・既存7&8' ス含有建材について(令和7年調査済: 塗装下に7&8' ス含有)
 7&8' ス有: 外壁吹付材
 7&8' ス無: 軒裏吹付材、外壁目地シーリング、サツ廻りシーリング
 ・外壁目地、サツ廻りのシーリングは撤去する
 外壁目地のシーリングはMS-2とする。
 注) シーリング撤去のさい外壁吹付材下地に7&8' ス含有
 ・大気汚染防止法、鳥取県石綿健康被害防止法条例に基づき撤去すること。



東立面図



西立面図



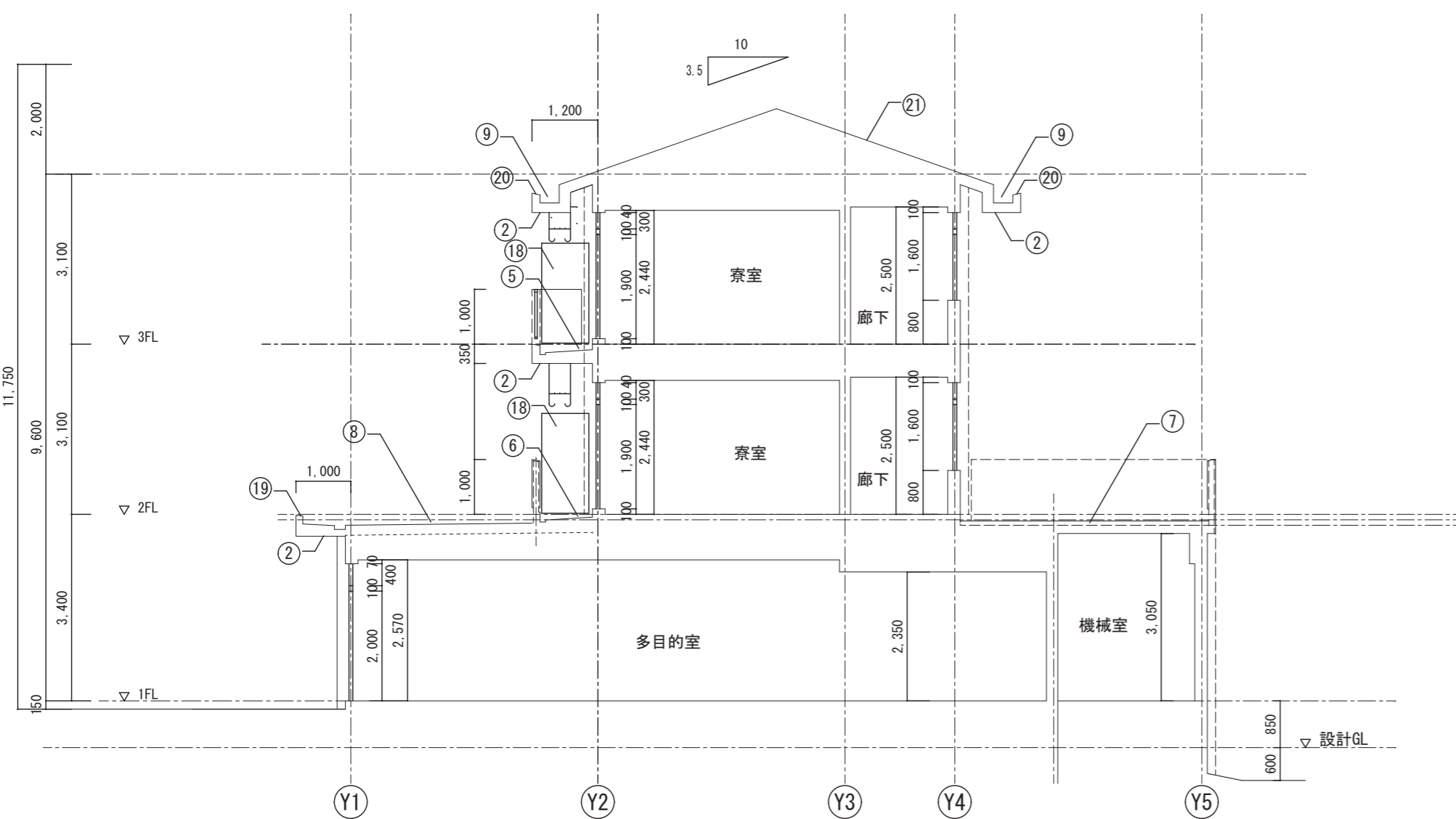


南立面図

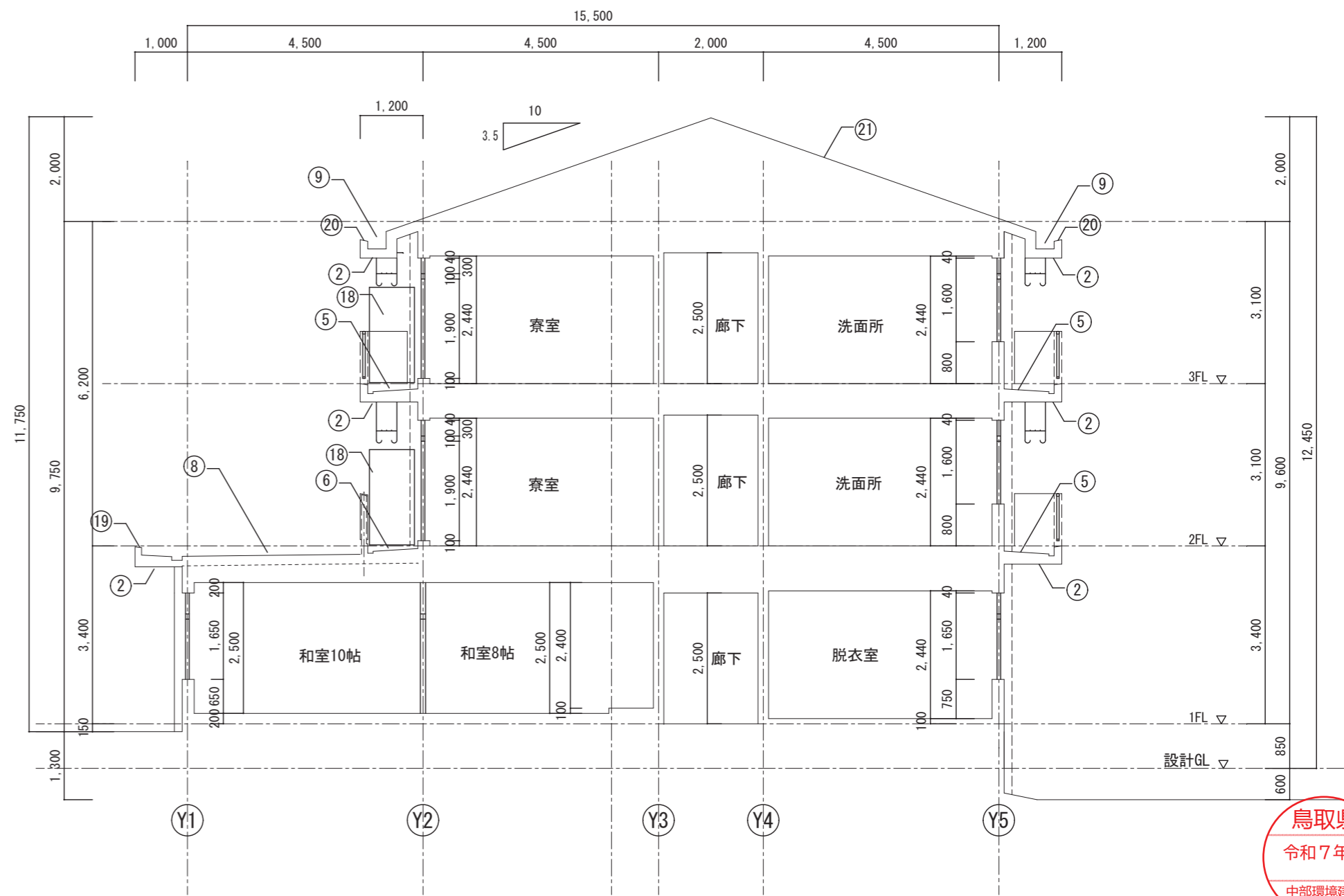
番号	改修部位	改修前	
①	外壁	複層塗材RE(吹付)ARE:下地AS含有)コンクリート打ち放し下地	外壁改修
②	軒裏	外装薄塗材E(7ヶ所)コンクリート打ち放し下地	外壁改修
③	外壁目地	外壁目地シーリング(20×15)	防水改修
④	7ヶ所サッシ廻り目地	7ヶ所サッシ廻りシーリング(15×10)	防水改修
⑤	床・中木・小巾溝	防水樹脂金ワ30t下地	防水改修
⑥	床・中木・小巾溝	ウレタン防水(歩行用) 防水樹脂金ワ下地	防水改修
⑦	床・小巾溝	塩ビ樹脂シート 2.0t(歩行用) 防水樹脂金ワ下地	防水改修
⑧	床・小巾溝	塩ビ樹脂シート 1.5t(非歩行用) 防水樹脂金ワ下地	防水改修
⑨	箱樋(R階)	加硫ゴム系フリンクシート1.2t(非歩行用) 防水樹脂金ワ下地	防水改修
⑩	縦樋	VP100φ(ケー)	既存のまま
⑪	基礎廻り	コンクリート打ち放し	外壁改修
⑫	基礎廻り(化粧型枠)	コンクリート打ち放し	外壁改修
⑬	鉄骨階段	溶融亜鉛メッキ	既存のまま
⑭	バルコニー手摺	7ヶ所製+目隠しハ6t	既存のまま
⑮	スロープ手摺	ステンレス製 42.5φ	既存のまま
⑯	小屋裏換気フード	ハイ75φ(SUSフード付)・ハイ75φ(防虫網付)	既存のまま
⑰	天井換気ハイ75φ	ハイ75φ(防虫網付)	既存のまま
⑱	隔壁ハ6t	ケイ加板6t AE塗	既存のまま
⑲	庇7ヶ所押え金物	7ヶ所鉄木W=175	防水改修
⑲	箱樋押え金物	7ヶ所押え金物	防水改修
⑲	屋根	ガラスフェリス 0.45t 横置き	既存のまま
⑲	A/C室外機	室外機ユニット(16機)	防水改修

	ひび割れ >1.0mm
	ひび割れ 0.2mm~1.0mm
	防水塗膜補修部浮き部分
	軒裏塗膜剥離
	事前クラック補修跡 W=20mm程度
	欠損部分

特記事項
 ・既存7ヶ所含有建材について(令和7年調査済:塗装下地に7ヶ所含有)
 7ヶ所含有:外壁吹付材
 7ヶ所含有:軒裏吹付材、外壁目地シーリング、サッシ廻りシーリング
 ・外壁目地、サッシ廻りのシーリングは撤去する
 外壁目地のシーリングはMS-2とする。
 注)シーリング撤去のさい外壁吹付材下地に7ヶ所含有
 ・大気汚染防止法、鳥取県石綿健康被害防止法条例に基づき撤去すること。



断面図(1)



断面図(2)

Project 県立倉吉農業高等学校女子寮防水・外壁改修工事
 Title 南側立面図・断面図(改修前) S=1/100

Designed by (有) エイディエム設計研究室
 〒682-0814
 鳥取県倉吉市米田町877-1
 一級建築士 里見泰男 登録番号 第128367号
 一級建築士 市村幹男 登録番号 第202784号
 TEL 0858-22-7717 FAX 0858-23-9315



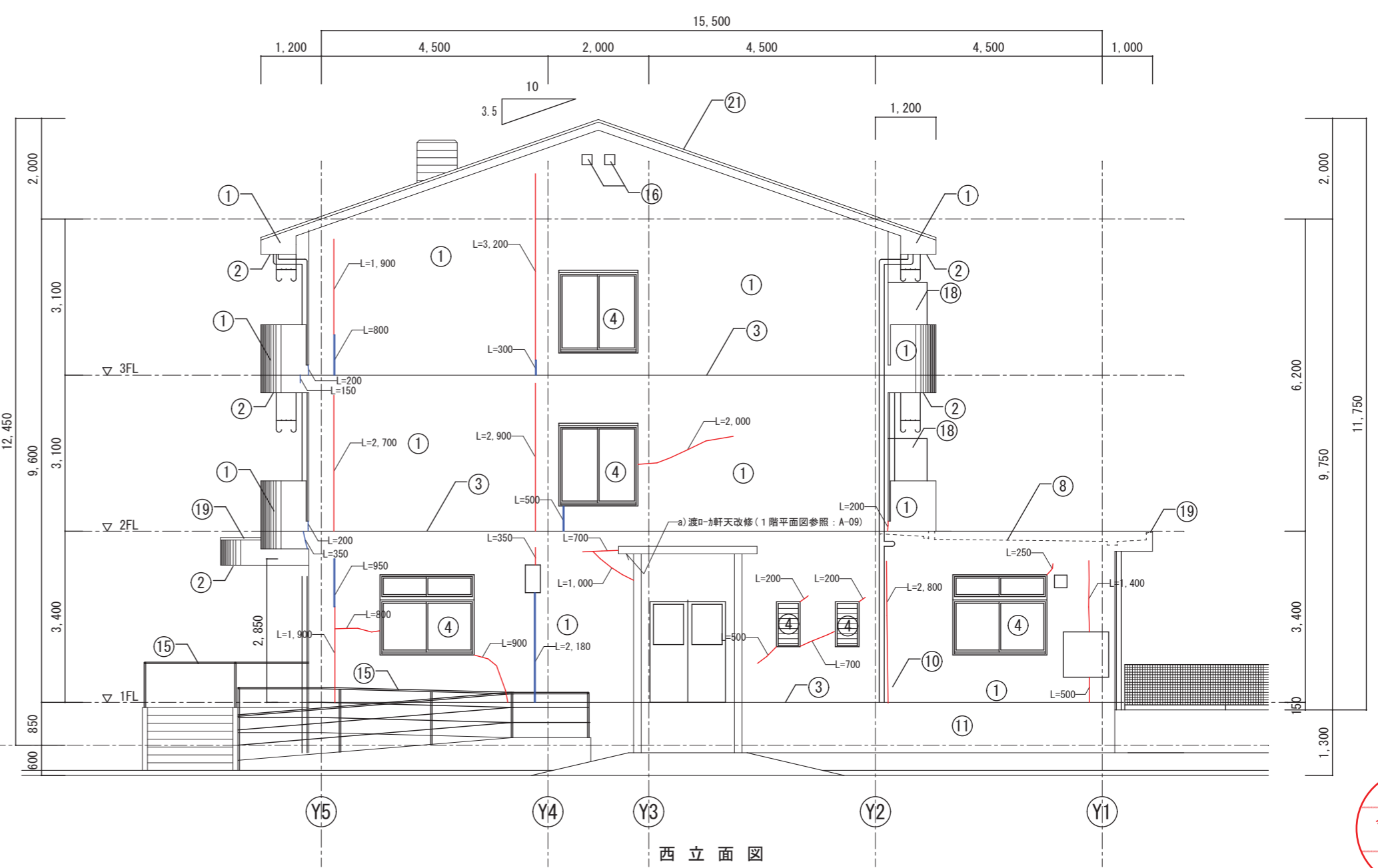


番号	改修部位	改修後	改修前
①	外壁	高圧洗浄(10~15Mpa) 下地調整塗材C-1	複層塗材RE吹付
②	軒裏	高圧洗浄(30~50Mpa) 下地調整塗材C-1	外装薄塗材E吹付
③	外壁目地	既存既存シーリングの撤去の上	シーリング(MS-2)に打ち替え
④	7&8サッシ廻り目地	7&8サッシ周囲既存シーリングの撤去の上	シーリング(MS-2)に打ち替え
⑤	床・巾木・小巾溝	既存防水材の高圧洗浄後(10~15Mpa) クレタ塗膜防水(歩行用)防漏仕上	防水材の高圧洗浄後
⑥	床・巾木・小巾溝	既存クレタ塗膜高圧洗浄後(10~15Mpa) クレタ塗膜防水(歩行用)防漏仕上	クレタ塗膜防水(歩行用) 防水材の高圧洗浄後
⑦	床・巾木・小巾溝	既存防水(塩ビシート)撤去後 改質アスファルト防水常温工法C-1(歩行用)防漏	塩ビ樹脂系シート 2.0t(歩行用) 防水材の高圧洗浄後
⑧	床・巾木・小巾溝	既存防水(塩ビシート)撤去後 改質アスファルト防水常温工法C-1(非歩行用)	塩ビ樹脂系シート 1.5t(非歩行用) 防水材の高圧洗浄後
⑨	箱樋(R階)	既存防水(加硫ゴム系シート)撤去改質アスファルト防水常温工法C-2(非歩行用)	加硫ゴム系シート 1.2t(非歩行用) 防水材の高圧洗浄後
⑩	縦樋	既存のまま	VP100φ(カチ)
⑪	基礎廻り	高圧洗浄(10~15Mpa)	コンクリート打ち直し
⑫	基礎廻り(化粧型枠)	高圧洗浄(10~15Mpa)	コンクリート打ち直し
⑬	鉄骨階段	既存のまま	溶融亜鉛メッキ
⑭	バルコニー手摺	既存のまま	7&8製+目隠しハ&6t
⑮	スロープ手摺	既存のまま	ステンレス製 42.5φ
⑯	小屋裏換気フード	既存のまま	パイプ150φ(SUS304付)・パイプ75φ(防虫網付)
⑰	天井換気パイプ	既存のまま	パイプ50φ(防虫網付)
⑱	隔壁ハ&6	既存のまま	ケイ化板6t AE塗
⑲	庇7&8押え金物	⑧防水改修に伴い取外し再取付	7&8笠木W=175
⑲	箱樋押え金物	⑨防水改修に伴い取外し再取付	7&8押え金物
⑲	屋根	既存のまま	ガラスステン 0.45t 横置き
⑲	A/C室外機	⑧防水改修に伴い取外し再取付	室外機ユニット(16機)

	ひび割れ >1.0mm	Uカドシール充填工法	0.90㎡
	ひび割れ 0.2mm~1.0mm	珪酸樹脂充填工法	54.10㎡
	珪酸樹脂補修部分	浮き部分カッター入れ撤去 珪酸樹脂補修仕上	0.92㎡
	軒裏塗装剥離	高圧洗浄(30~50Mpa) 外装薄塗材E吹付仕上	0.84㎡
	事前クラック補修跡 W=20mm程度	外壁目地シーリング(20×15) 外壁既存シーリングの撤去の上 シーリング(MS-2)に打ち替え	6.23㎡
	欠損部分	欠損部分(50mm×200mm) 塗膜剥離工法で除去 珪酸樹脂珪酸にて補修	0.01㎡

特記事項

- 既存7&8含有建材について(令和7年調査済:塗装下に7&8含有)
- 7&8含有: 外壁吹付材
- 7&8含有: 軒裏吹付材、外壁目地シーリング、サッシ廻りシーリング
- 外壁目地、サッシ廻りのシーリングは撤去する
- 外壁目地のシーリングはMS-2とする。
- 注) シーリング撤去のさい外壁吹付材下に7&8含有
- ひび割れ、欠損、剥離の数量は参考数量であり、現地調査により増減が生じた場合は監督員と協議すること。
- 外壁改修については現地調査を行い、補修範囲工法を監督員と協議決定すること。
- 大気汚染防止法、鳥獣害被害防止法に基づき撤去すること。





南立面図

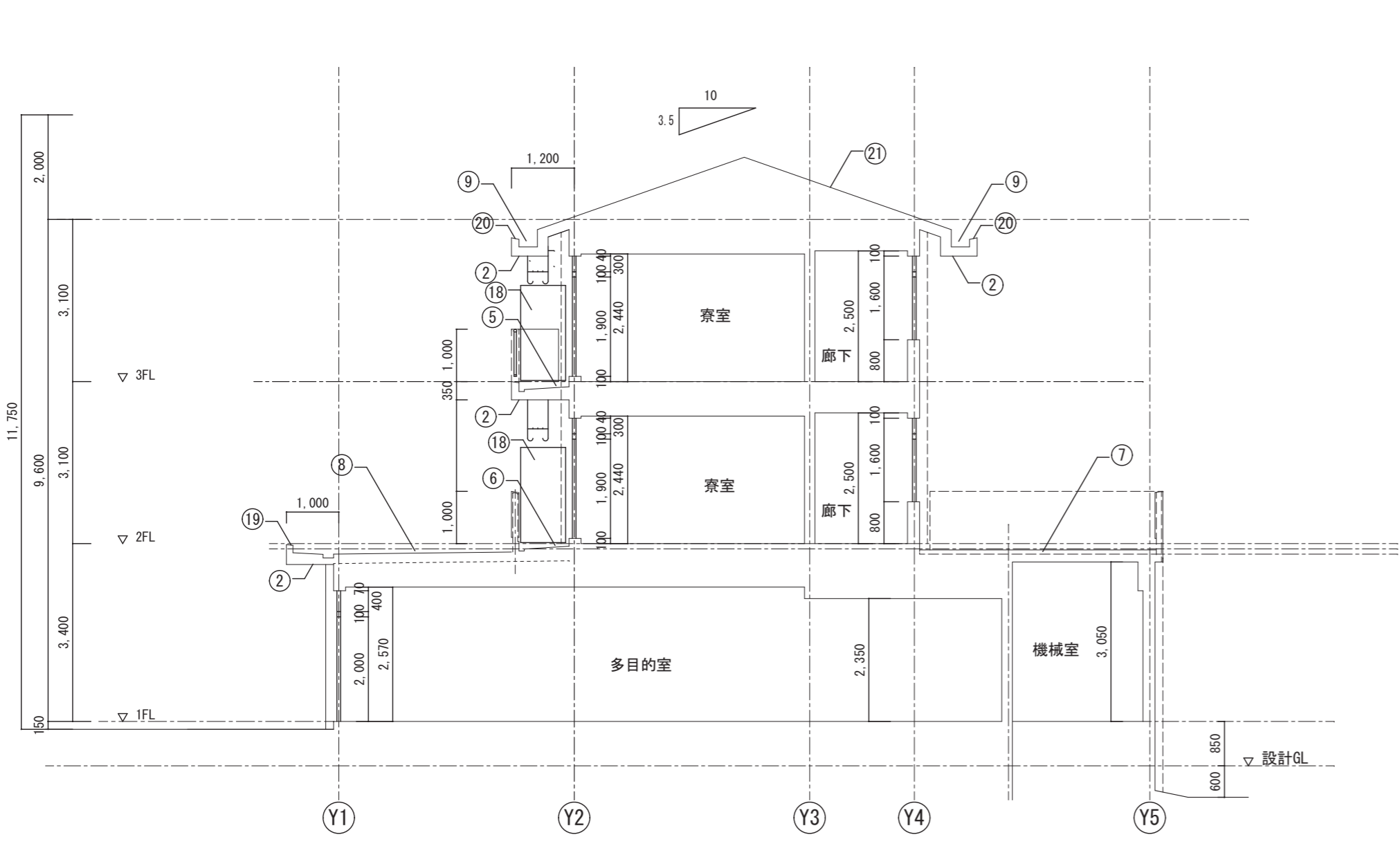
番号	改修部位	改修後	改修前
①	外壁	高圧洗浄(10~15Mpa) 下地調整塗材C-1 複層塗材RE吹付	複層塗材RE吹付(※RE:下地AS含有)コンクリート打ち放し下地
②	軒裏	高圧洗浄(30~50Mpa) 下地調整塗材C-1 外装薄塗材E吹付	外装薄塗材E(7カリシツ) コンクリート打ち放し下地
③	外壁目地	外壁既存シーリング撤去の上 シーリング(MS-2)に打ち替え	外壁目地シーリング(20×15)
④	7&8カッ通り目地	7&8カッ通り既存シーリング撤去の上 シーリング(MS-2)に打ち替え	7&8カッ通りシーリング(15×10)
⑤	床・巾木・小巾溝	既存防水を剥離後高圧洗浄後(10~15Mpa) クレタ塗膜防水(歩行用)防滑仕上	防水樹脂塗料30t下地
⑥	床・巾木・小巾溝	既存防水を剥離後高圧洗浄後(10~15Mpa) クレタ塗膜防水(歩行用)防滑仕上	クレタ塗膜防水(歩行用) 防水樹脂塗料下地
⑦	床・小巾溝	既存防水(塩ビシート)撤去後 改質アクリル防水常温工法C-1(歩行用)防滑	塩ビ樹脂系シート 2.0t(歩行用) 防水樹脂塗料下地
⑧	床・小巾溝	既存防水(塩ビシート)撤去後 改質アクリル防水常温工法C-1(非歩行用)	塩ビ樹脂系シート 1.5t(非歩行用) 防水樹脂塗料下地
⑨	箱礎(R階)	既存防水(加硫ゴム系シート)撤去改質アクリル防水常温工法C-2(非歩行用)	加硫ゴム系シート1.2t(非歩行用) 防水樹脂塗料下地
⑩	縦樋	既存のまま	VP100Φ(あて)
⑪	基礎廻り	高圧洗浄(10~15Mpa)	コンクリート打ち放し
⑫	基礎廻り(化粧型枠)	高圧洗浄(10~15Mpa)	コンクリート打ち放し
⑬	鉄骨階段	既存のまま	溶融亜鉛メッキ
⑭	パネコ-手摺	既存のまま	7&8製目隠しパネコ-
⑮	加-手摺	既存のまま	ステンレス 42.5Φ
⑯	小屋裏換気フード	既存のまま	パネコ-150Φ(SUS304)・パネコ-75Φ(防虫網付)
⑰	天井換気パネコ-	既存のまま	パネコ-50Φ(防虫網付)
⑱	隔壁パネコ-	既存のまま	ケレン板6t AE塗
⑲	庇7&8押え金物	⑧防水改修に伴い取外し再取付	7&8笠木W=175
⑲	箱礎押え金物	⑨防水改修に伴い取外し再取付	7&8押え金物
⑳	屋根	既存のまま	カラーステンレス 0.45t 横置き
㉑	A/C室外機	⑧防水改修に伴い取外し再取付	室外機ユニット(16機)

※詳細はA-08図 外部仕上表参照

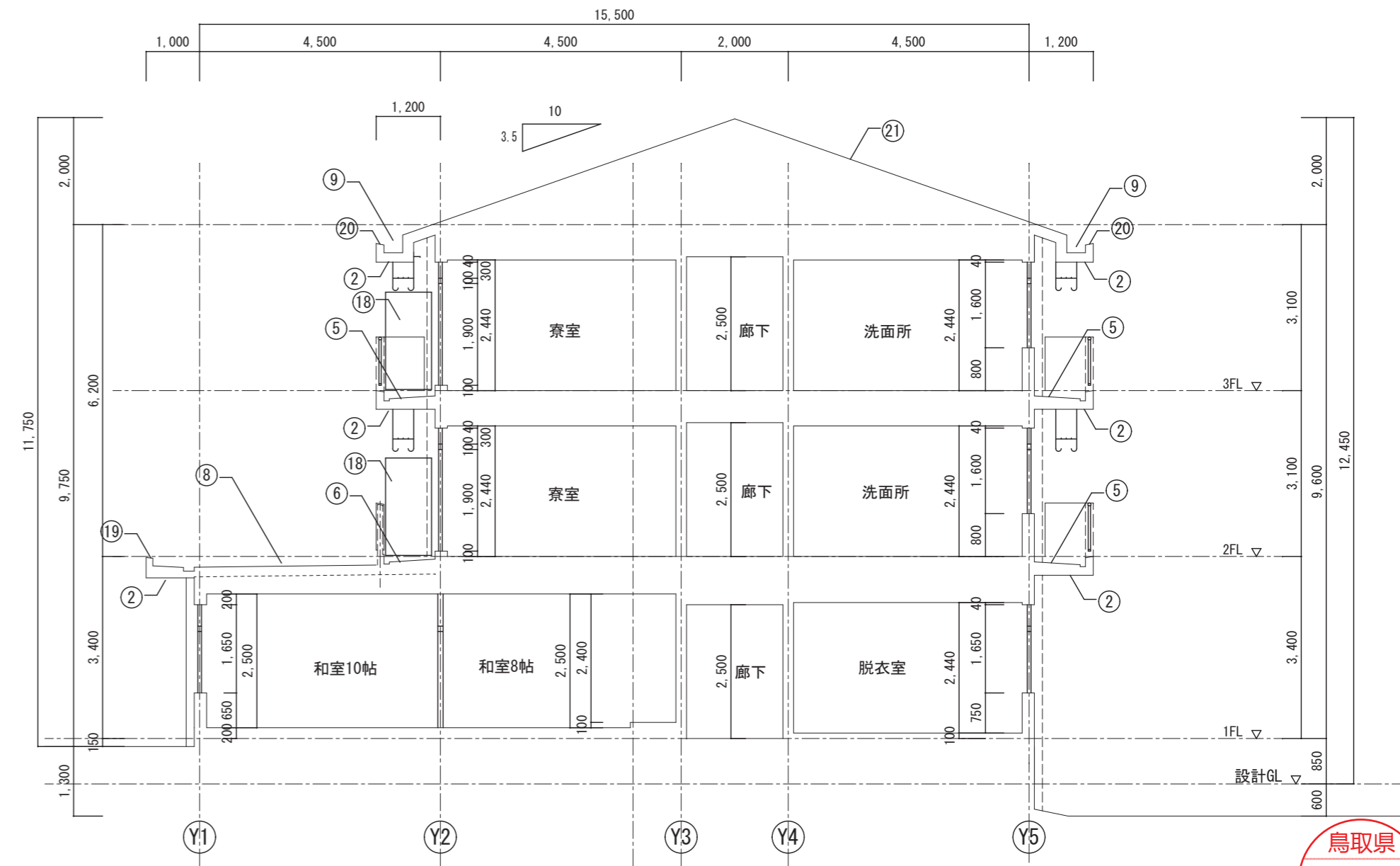
ひび割れ >1.0mm	Uカット充填工法	0.90㎡
ひび割れ 0.2mm~1.0mm	1&2 樹脂充填工法	54.10㎡
モルタル補修部浮き部分	浮き部分カッター入れ撤去 モルタル補修仕上	0.92㎡
軒裏塗装剥離	高圧洗浄(30~50Mpa) 外装薄塗材E吹付仕上	0.84㎡
事前ケラック補修跡 W=20mm程度	外壁目地シーリング(20×15) 外壁既存シーリング撤去の上 シーリング(MS-2)に打ち替え	6.23㎡
欠損部分	欠損部分(50mm×200mm) 塗膜剥離工法で除去 モルタル樹脂にて補修	0.01㎡

特記事項

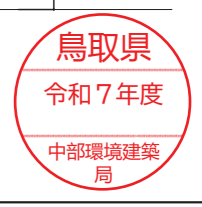
- 既存7&8含有建材について(令和7年調査済:塗装下地に7&8含有)
- 7&8含有: 外壁吹付材
- 7&8含有: 軒裏吹付材、外壁目地シーリング、カッ通りシーリング
- 外壁目地、カッ通りのシーリングは撤去する
- 外壁目地のシーリングはMS-2とする。
- 注) シーリング撤去のさい外壁吹付材下地に7&8含有
- ひび割れ、欠損、剥離の数量は参考数量であり、現地調査により増減が生じた場合は監督員と協議すること。
- 外壁改修については現地調査を行い、補修範囲工法を監督員と協議決定すること。
- 大気汚染防止法、鳥取県石綿健康被害防止法条例に基づき撤去すること。



断面図(1)

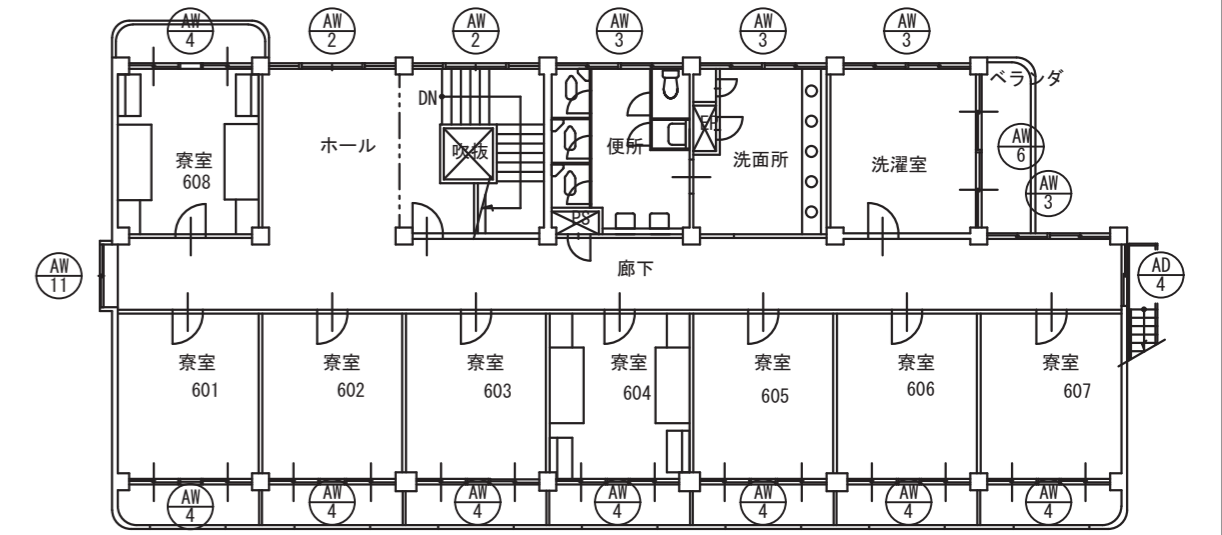


断面図(2)

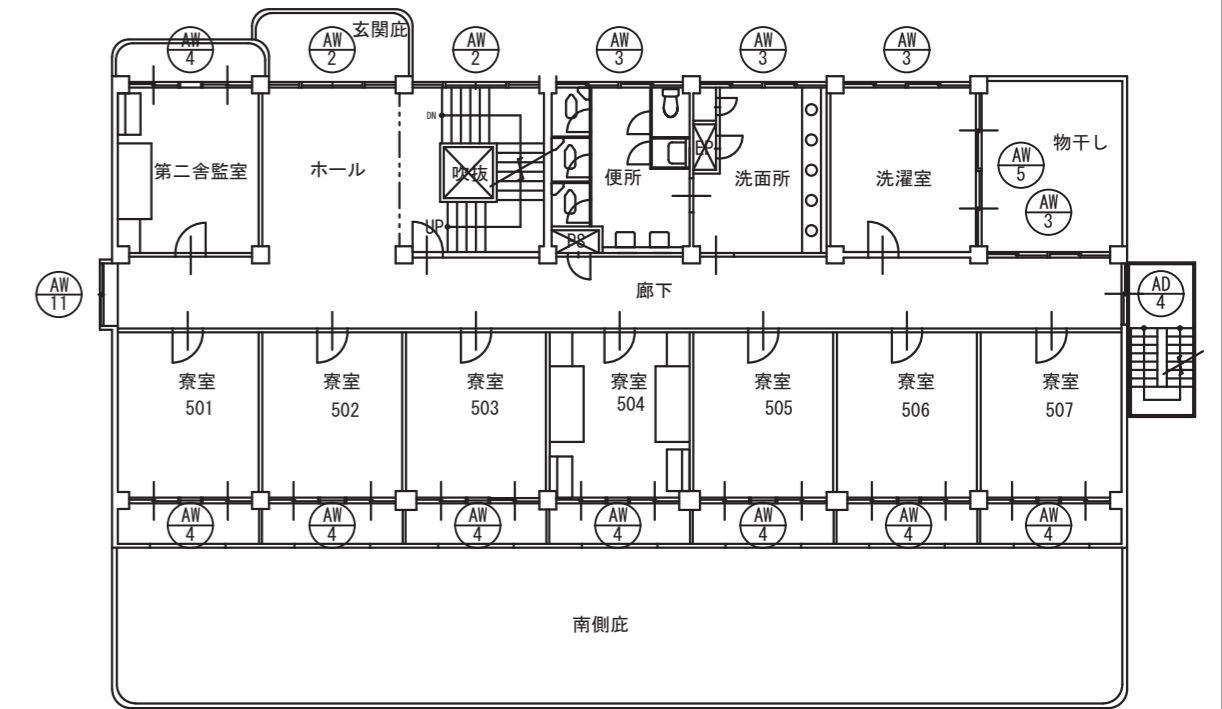


建具表

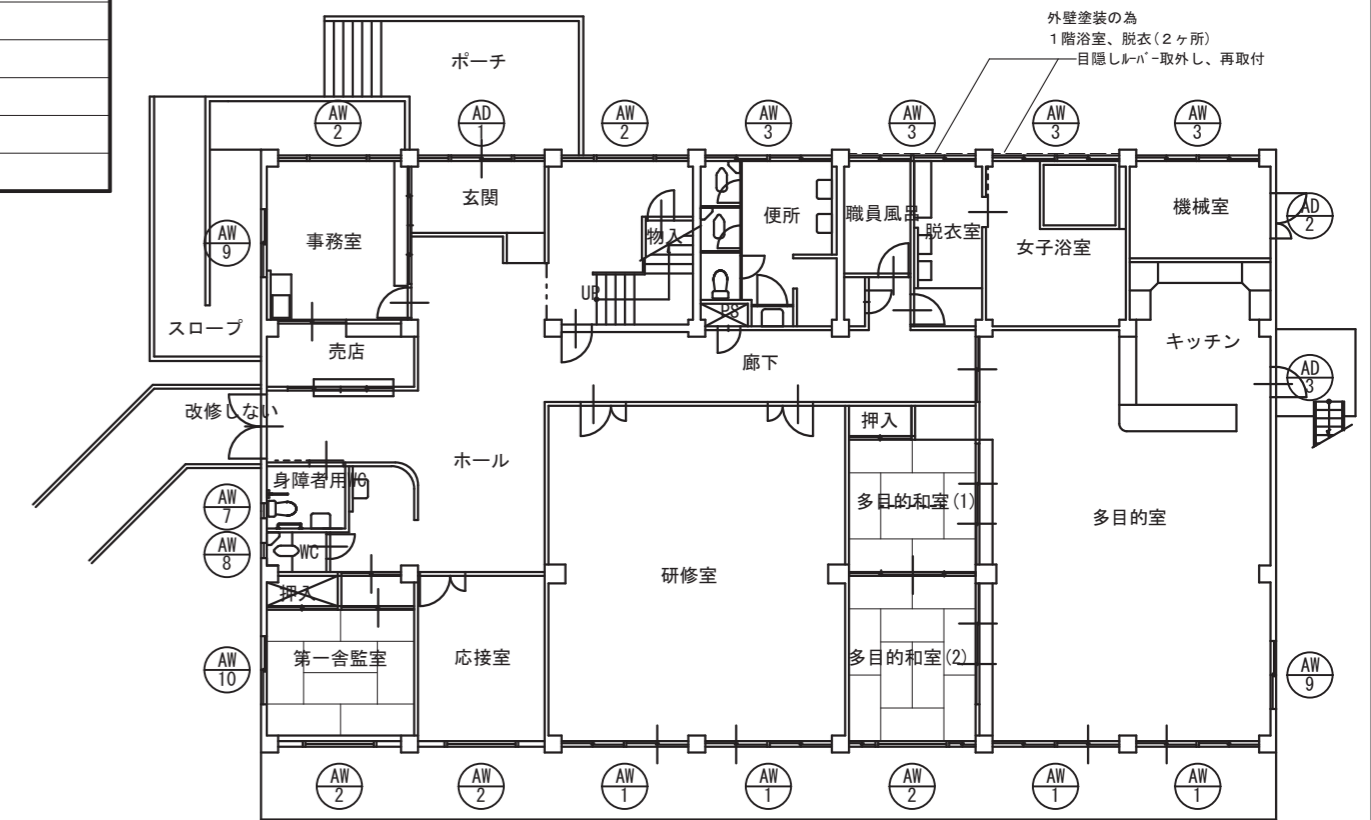
符号	AW 1 シマ付2連引違い窓	研修室 多目的室	AW 2 シマ付中引違い窓	応接・和室 事務・階段室他	AW 3 シマ付2連引違い窓	便所・浴・機械室 洗面・洗濯室他	AW 4 シマ付2連引違い窓	寮室501~607 2・3階舎監室他	AW 5 シマ付2連引違い窓	2階洗濯室	AW 6 2連引違い窓	3階洗濯室
姿図												
見込 数量		4		8		12		16		1		1
仕様	アルミサッシ (ｶﾀｰ)											
ガラス												
金物												
符号	AW 7 ｶﾞﾗｽﾊﾞｰ窓	1階身障者用便所	AW 8 ｶﾞﾗｽﾊﾞｰ窓	1階便所	AW 9 ｼﾏ付引き違い窓	1階事務室 1階多目的室	AW 10 ｼﾏ付引き違い窓	1階舎監室	AW 11 引違い出窓	2・3廊下	AW-11内部上下 ｶﾞﾗｽ張替え	内部 3廊下
姿図												
見込 数量		1		1		2		1		2		
仕様	アルミサッシ (ｶﾀｰ)											
ガラス												
金物												
符号	AD 1 ｼﾏ付2連引違い戸	1階玄関	AD 2 親子開き戸	1階機械室	AD 3 片開き戸	1階ｷｯﾁﾝ	AD 4 引き違い戸	2・3廊下				
姿図												
見込 数量		1		1		1		2				
仕様	アルミサッシ (ｶﾀｰ)											
ガラス												
金物												



3階平面図 S=1/200



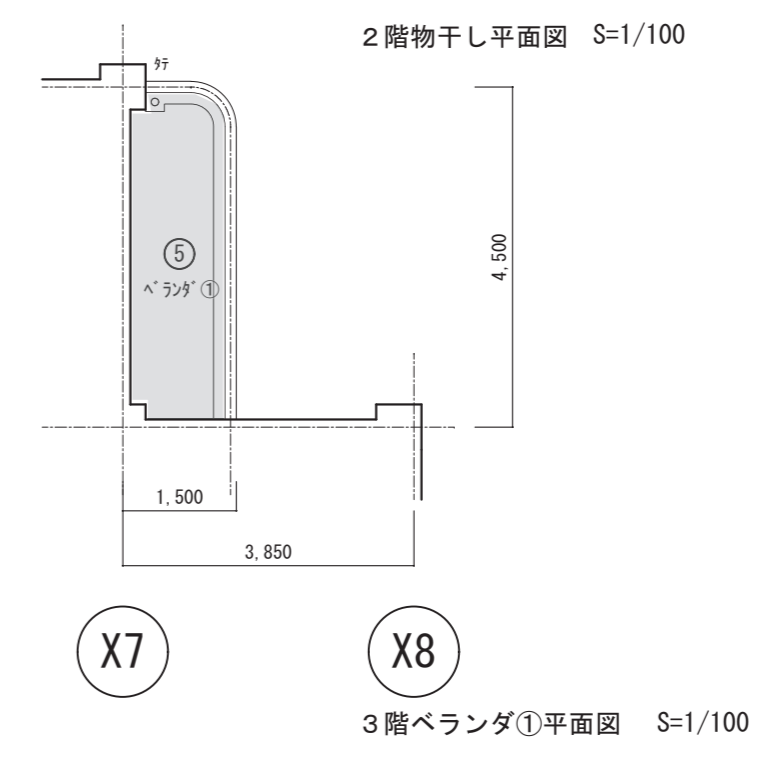
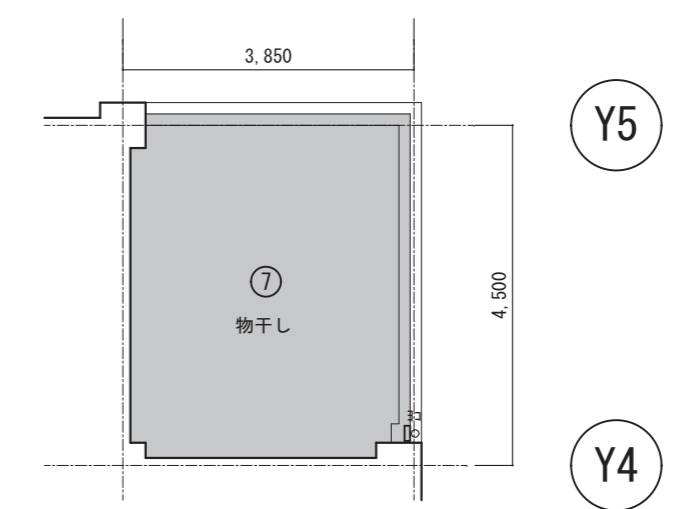
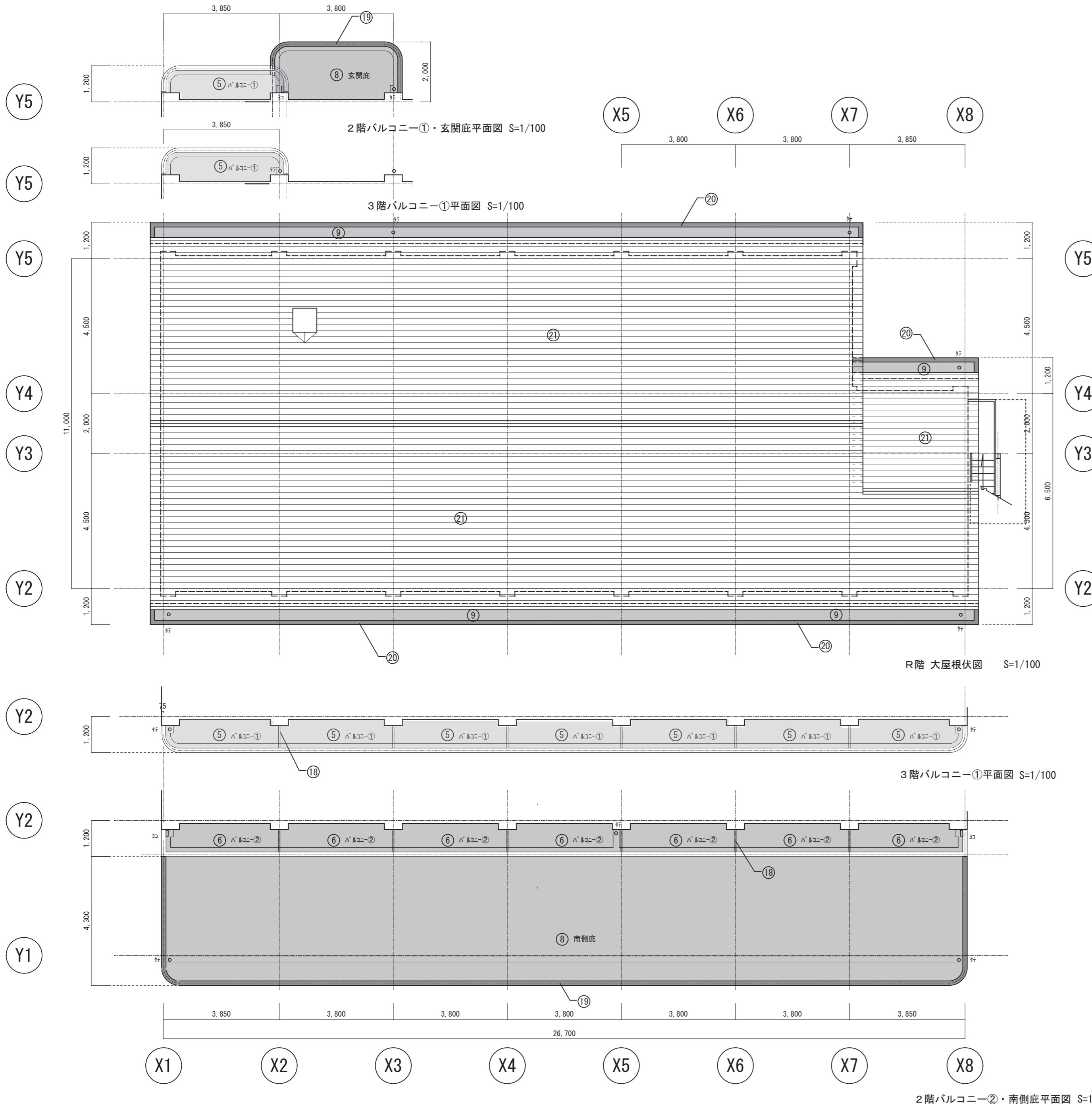
2階平面図 S=1/200



1階平面図 S=1/200

建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ





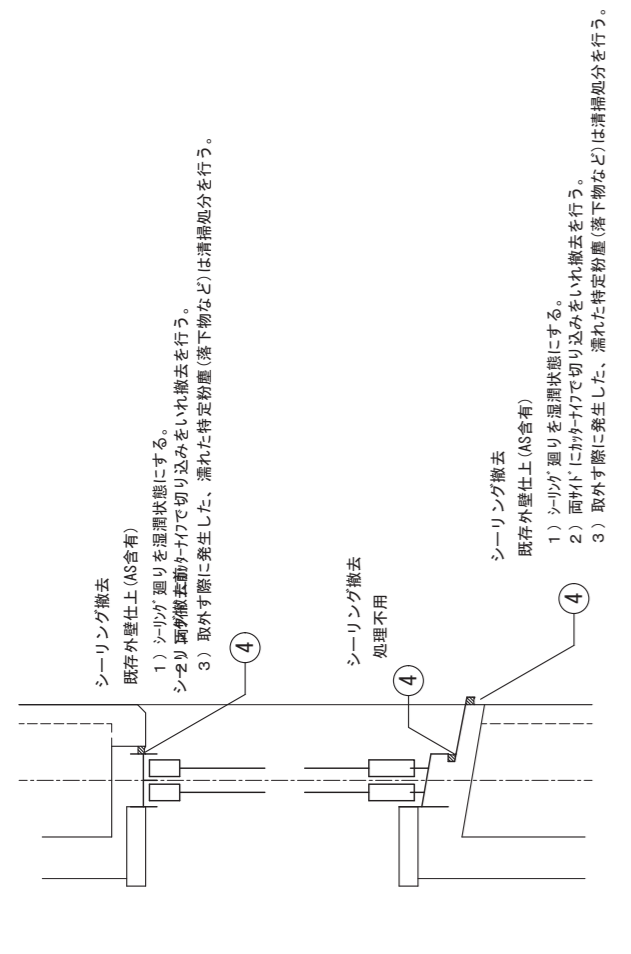
番号	改修部位	改修後	改修前
①	外壁	高圧洗浄(10~15Mpa) 下地調整塗材C-1 複層塗材RE吹付	複層塗材RE(吹付済)RE: 下地AS含有)コンクリート打ち放し下地
②	軒裏	高圧洗浄(30~50Mpa) 下地調整塗材C-1 外装薄塗材E吹付	外装薄塗材E(アクリル) コンクリート打ち放し下地
③	外壁目地	外壁既存シーリング撤去の上 シーリング(MS-2)に打ち替え	外壁目地シーリング(20x15)
④	7&8サッシ廻り目地	7&8サッシ周囲既存シーリング撤去の上 シーリング(MS-2)に打ち替え	7&8サッシ廻りシーリング(15x10)
⑤	床・巾木・小巾溝 ハコ-①(ハコ-①)①	既存防水撤去後高圧洗浄後(10~15Mpa) クレタ塗膜防水(歩行用)防滑仕上	防水撤去後高圧洗浄後(10~15Mpa) クレタ塗膜防水(歩行用)防滑仕上
⑥	床・巾木・小巾溝 ハコ-②	既存クレン塗膜高圧洗浄後(10~15Mpa) クレタ塗膜防水(歩行用)防滑仕上	クレン塗膜防水(歩行用) 防水撤去後高圧洗浄後
⑦	床・小巾溝 物干し	既存防水撤去後改質アスファルト防水常温工法C-1(歩行) 防滑 トップカー	塩ビ樹脂系シート 2.0t(歩行用) 防水撤去後高圧洗浄後
⑧	床・小巾溝 2階通廊・玄関底	既存防水撤去後改質アスファルト防水常温工法C-1(非歩行) トップカー	塩ビ樹脂系シート 1.5t(非歩行用) 防水撤去後高圧洗浄後
⑨	箱樋(R階)	既存防水撤去後改質アスファルト防水常温工法C-2(非歩行) トップシルバー	加硫ゴム系防水シート1.2t(非歩行用) 防水撤去後高圧洗浄後
⑩	縦樋	既存のまま	VP100Φ(筋)
⑪	基礎廻り	高圧洗浄(10~15Mpa)	コンクリート打ち放し
⑫	基礎廻り(化粧型枠)	高圧洗浄(10~15Mpa)	コンクリート打ち放し
⑬	鉄骨階段	既存のまま	溶融亜鉛メッキ
⑭	ハコ-手摺	既存のまま	7&8製+目隠しハコ6t
⑮	スロープ手摺	既存のまま	ステンレス製 42.5Φ
⑯	小屋裏換気フード	既存のまま	ハコイ75Φ(SUS7-付)・ハコイ75Φ(防虫網付)
⑰	天井換気ハコイ	既存のまま	ハコイ50Φ(防虫網付)
⑱	隔壁ハコイ	既存のまま	ケイ化板6t AE塗
⑲	底7&8押え金物	⑧防水改修に伴い取外し再取付	7&8笠木W=175
⑳	箱樋押え金物	⑨防水改修に伴い取外し再取付	7&8押え金物
㉑	屋根	既存のまま	カーベストAS 0.45t 横置き
㉒	A/C室外機	⑧防水改修に伴い取外し再取付	室外機ユニット(16機)

※詳細はA-08図 外部仕上表参照



番号	改修部位	改修後	改修前
①	外壁	高圧洗浄(10~15Mbps) 下地調整塗料C-1	複層塗料RE吹付(吹付材RE: 下地AS含有) コケ打ち直し下地
②	軒裏	高圧洗浄(30~50Mbps) 下地調整塗料C-1	外装薄塗料E吹付
③	外壁目地	外壁既存シーリング撤去の上	外壁目地シーリング(20×15)
④	7尺巾の廻り目地	7尺巾の廻りシーリング撤去の上	7尺巾の廻りシーリング(15×10)
⑤	床・巾手・小巾溝	既存防水も高圧洗浄後(10~15Mbps) 外装塗料防水(歩行用)防漏仕上	防水も外金下下地
⑥	床・巾手・小巾溝	既存防水撤去後改質7尺巾防水常温工法C-1(歩行用)防漏	埋込樹脂系シート2.0t(歩行用) 防水も外金下下地
⑦	床・巾手・小巾溝	既存防水撤去後改質7尺巾防水常温工法C-1(歩行用)防漏	埋込樹脂系シート1.5t(非歩行用) 防水も外金下下地
⑧	床・巾手・小巾溝	既存防水撤去後改質7尺巾防水常温工法C-2(非歩行用)	埋込樹脂系シート1.2t(非歩行用) 防水も外金下下地
⑨	箱根(階)	既存防水(加硫)撤去改質7尺巾防水常温工法C-2(非歩行用)	埋込樹脂系シート1.2t(非歩行用) 防水も外金下下地
⑩	箱根	既存のまま	VF100φ(9行)
⑪	基礎廻り	高圧洗浄	コケ打ち直し
⑫	基礎廻り(化粧型枠)	高圧洗浄	コケ打ち直し
⑬	鉄骨階段	既存のまま	滑り止め貼付
⑭	ハコエ-手摺	既存のまま	7尺巾目隠しハコエ
⑮	ロープ手摺	既存のまま	ステンレス 42.5φ
⑯	小屋裏換気フード	既存のまま	ハコエ50φ(SUSP+付)・ハコエ75φ(防虫網付)
⑰	天井換気ハコエ	既存のまま	ハコエ50φ(SUSP+付)・ハコエ75φ(防虫網付)
⑱	隔壁ハコエ	既存のまま	ハコエ50φ(SUSP+付)・ハコエ75φ(防虫網付)
⑲	庇7尺巾押え金物	⑧防水改修に伴い取外し再取付	7尺巾押え金物
⑳	箱根押え金物	⑨防水改修に伴い取外し再取付	7尺巾押え金物
㉑	屋根	既存のまま	ハコエ50φ(SUSP+付)・ハコエ75φ(防虫網付)
㉒	A/C室外機	⑩防水改修に伴い取外し再取付	室外機工事(16機)

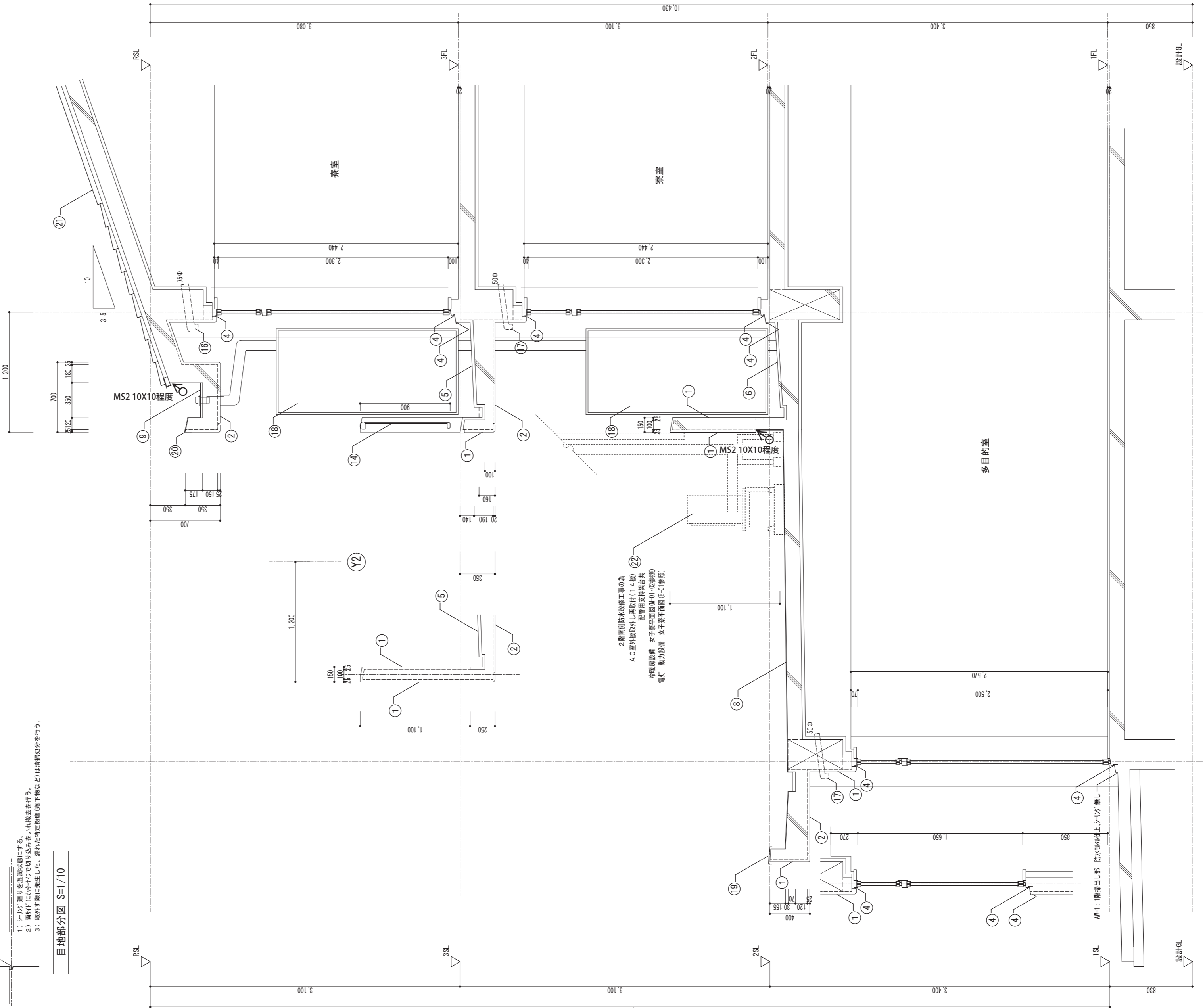
※詳細はA-08図 外部仕上表参



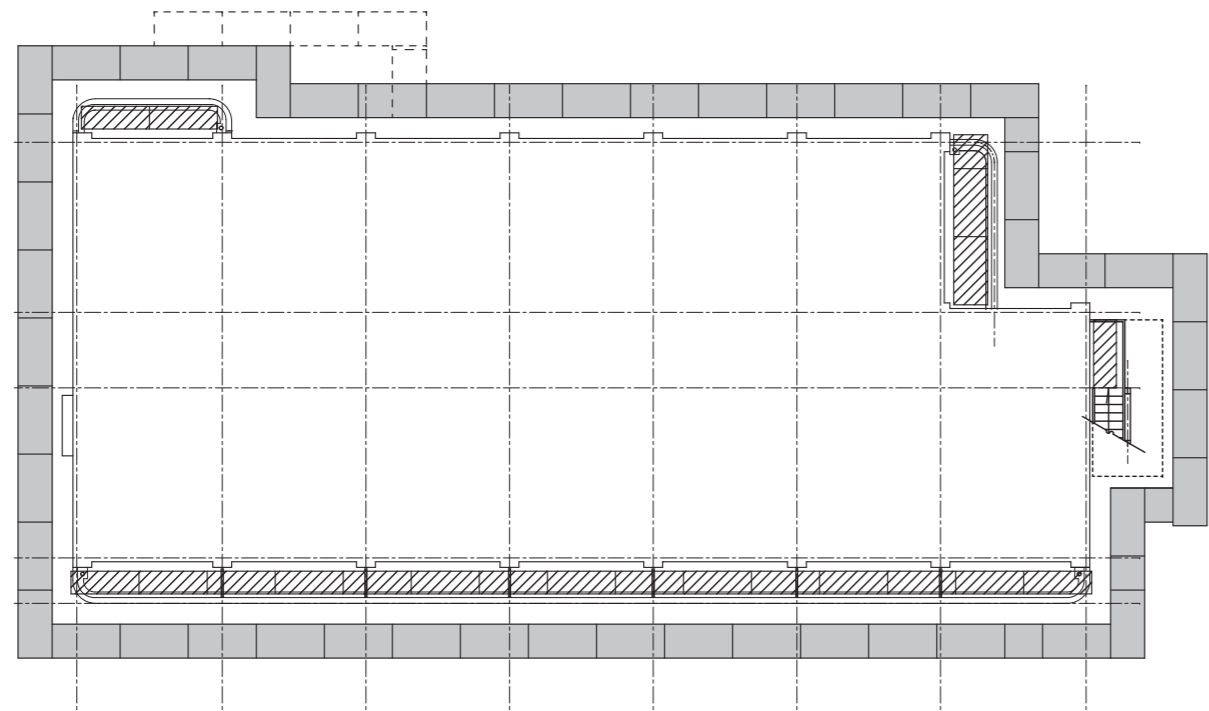
7尺巾の廻り目地部分図 S=1/10



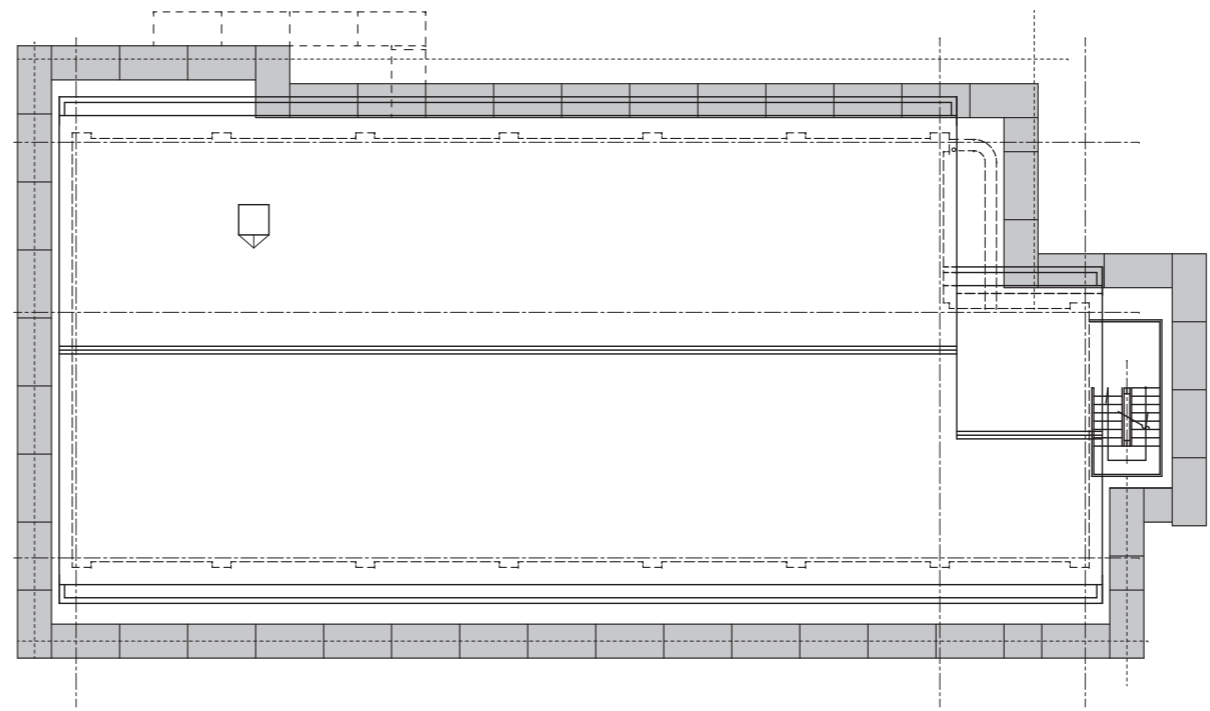
目地部分図 S=1/10



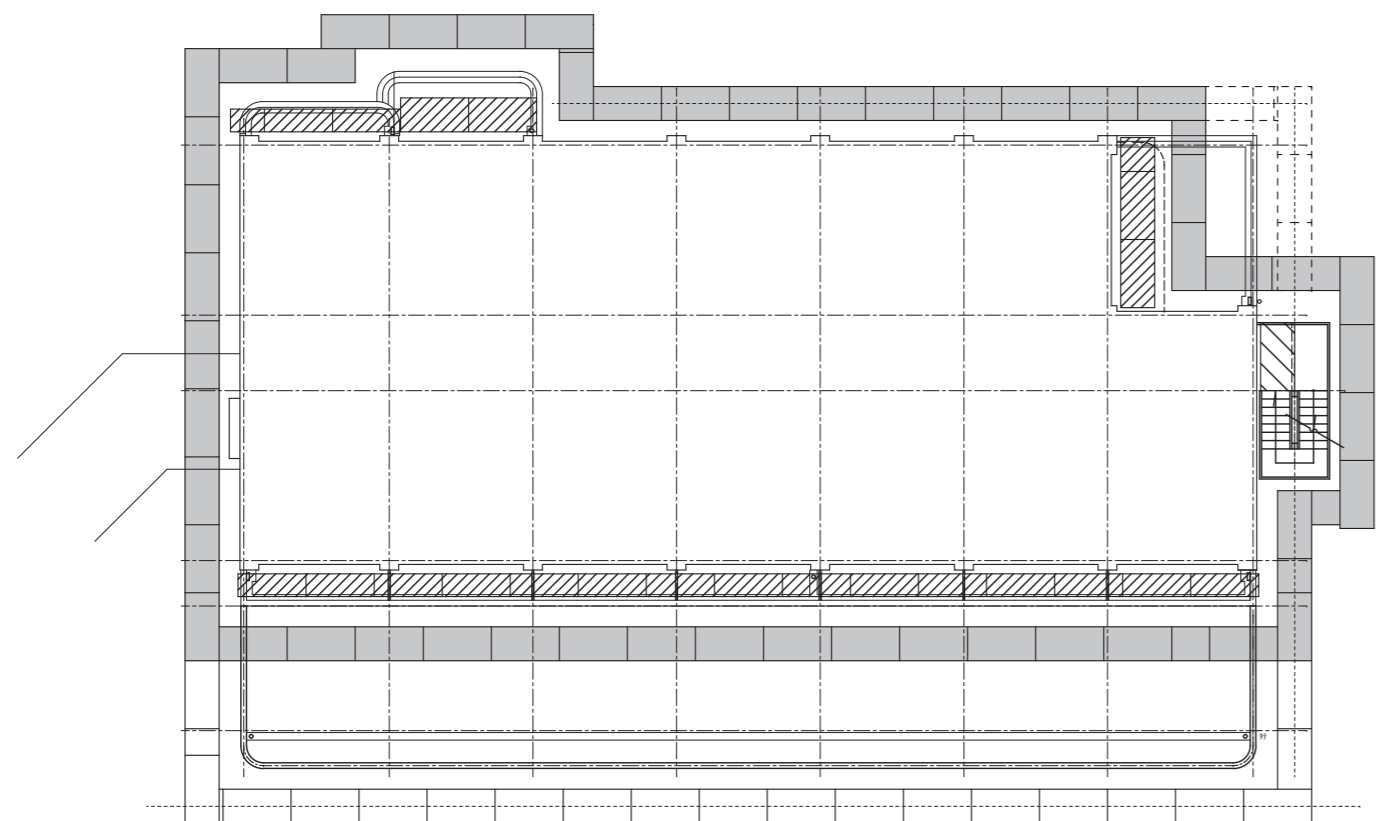
断面詳細図他 S=1/30



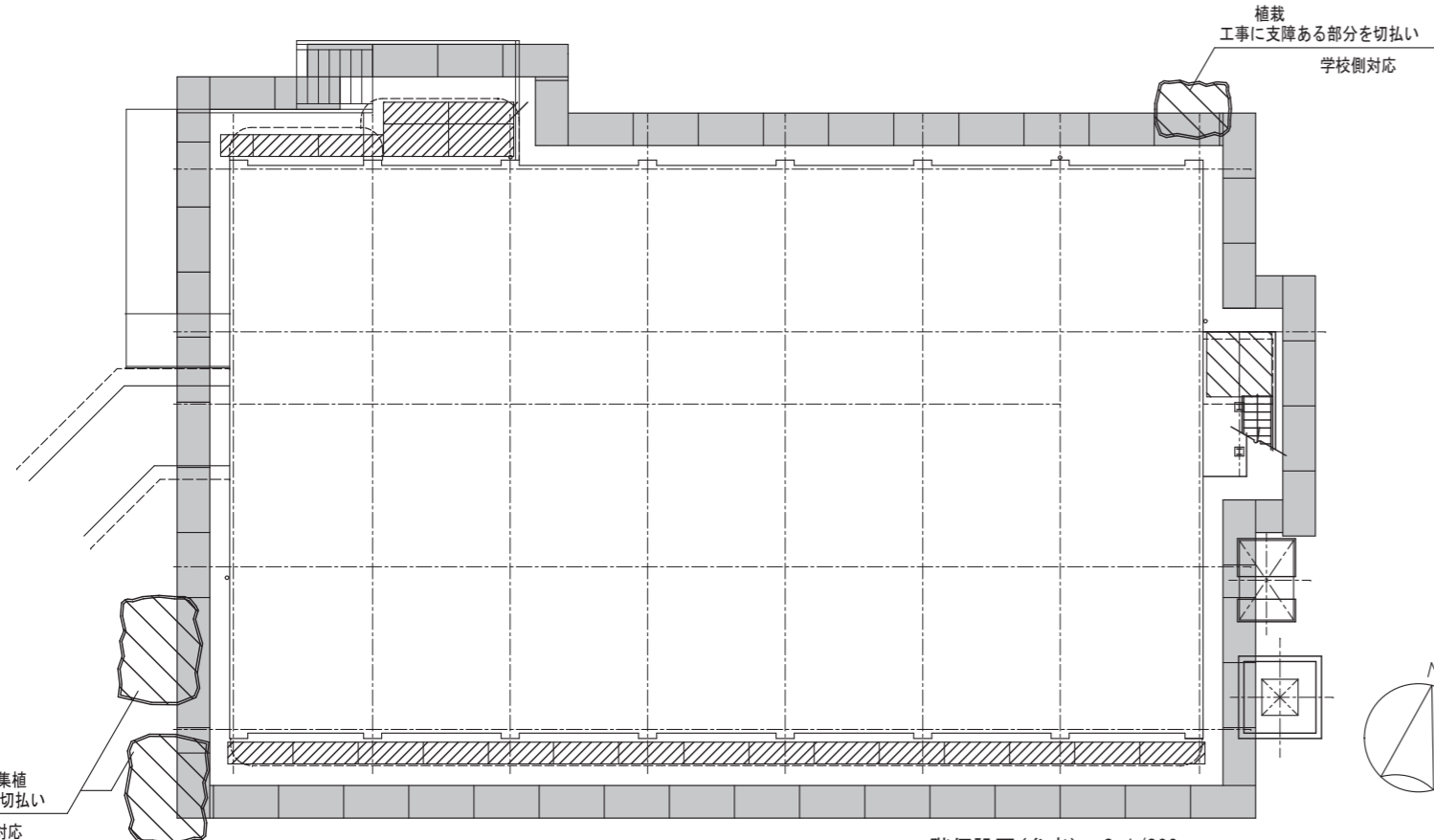
3階仮設図(参考) S=1/200



屋根仮設図(参考) S=1/200



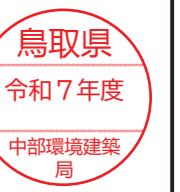
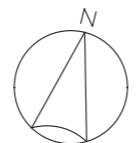
2階仮設図(参考) S=1/200

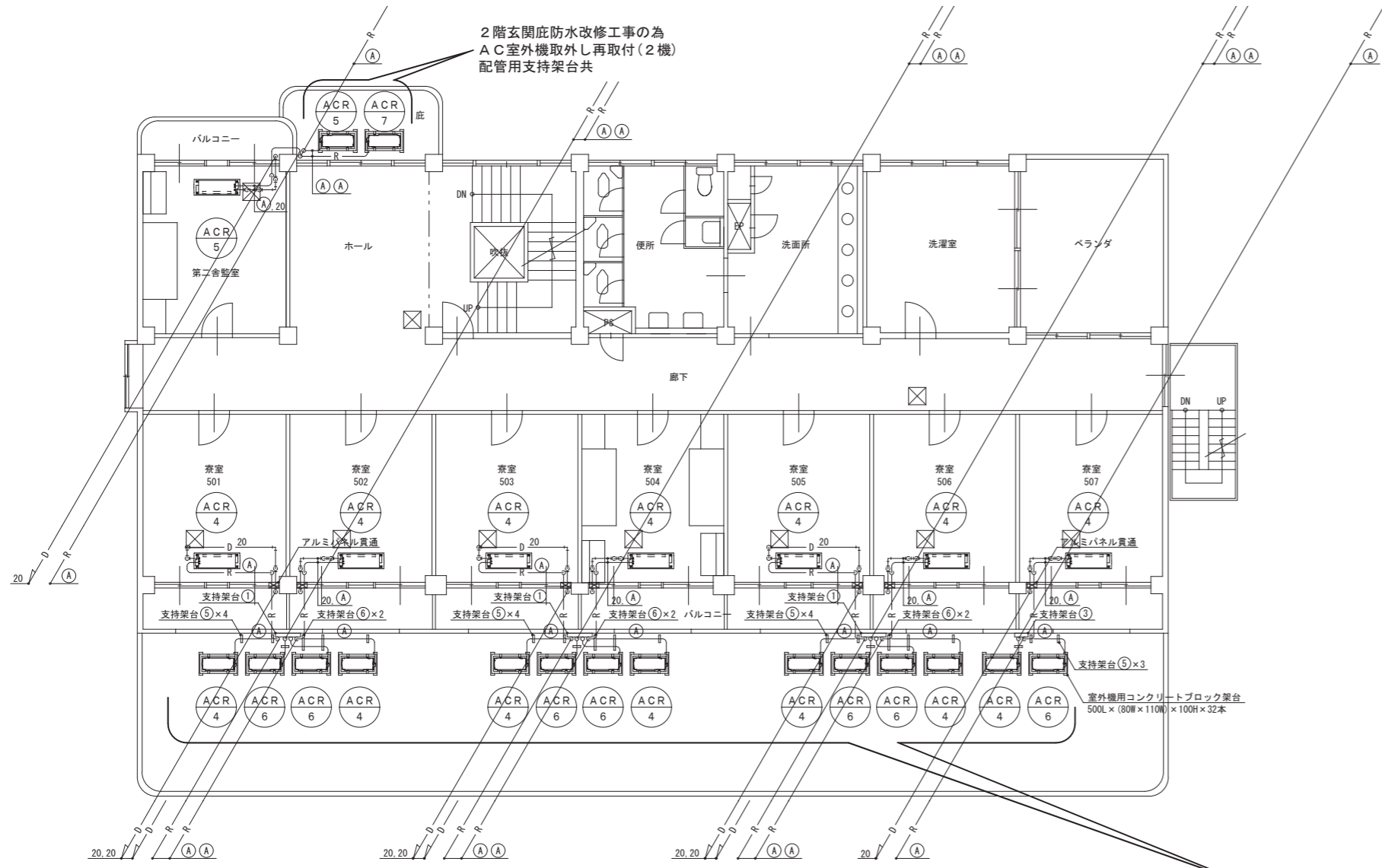


1階仮設図(参考) S=1/200

	外部部仕上足場 枠組足場 建枠 600・900 (ハコニ軒天部分用)
	外部部仕上足場 枠組足場 建枠 900 (外部階段踊り場裏用)
	枠組本足場(手摺先行) 建枠 900
	植栽 サザンカ他密集植部分 * 足場計画 → 監督員と打合せの後、学校側が対応(伐採・切り払い又は移設)

* 足場の壁つなぎ用アンカーの穴明け時
集じんシステム付きハンマドリル(同等品)を使用する。
集積された粉塵は、石綿含有廃棄物として適切に処理すること



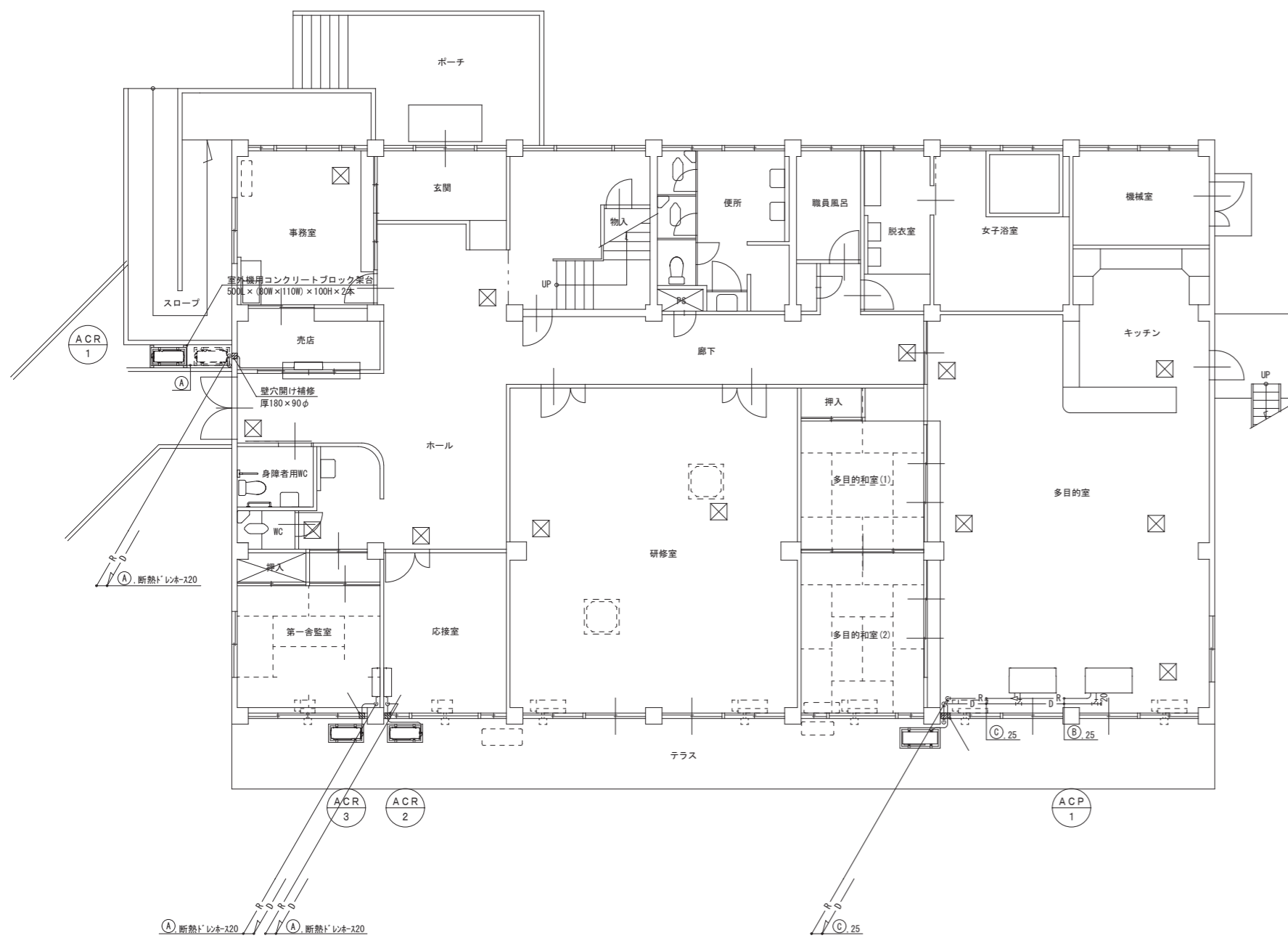


冷暖房設備 女子寮2階平面図 S=1/150

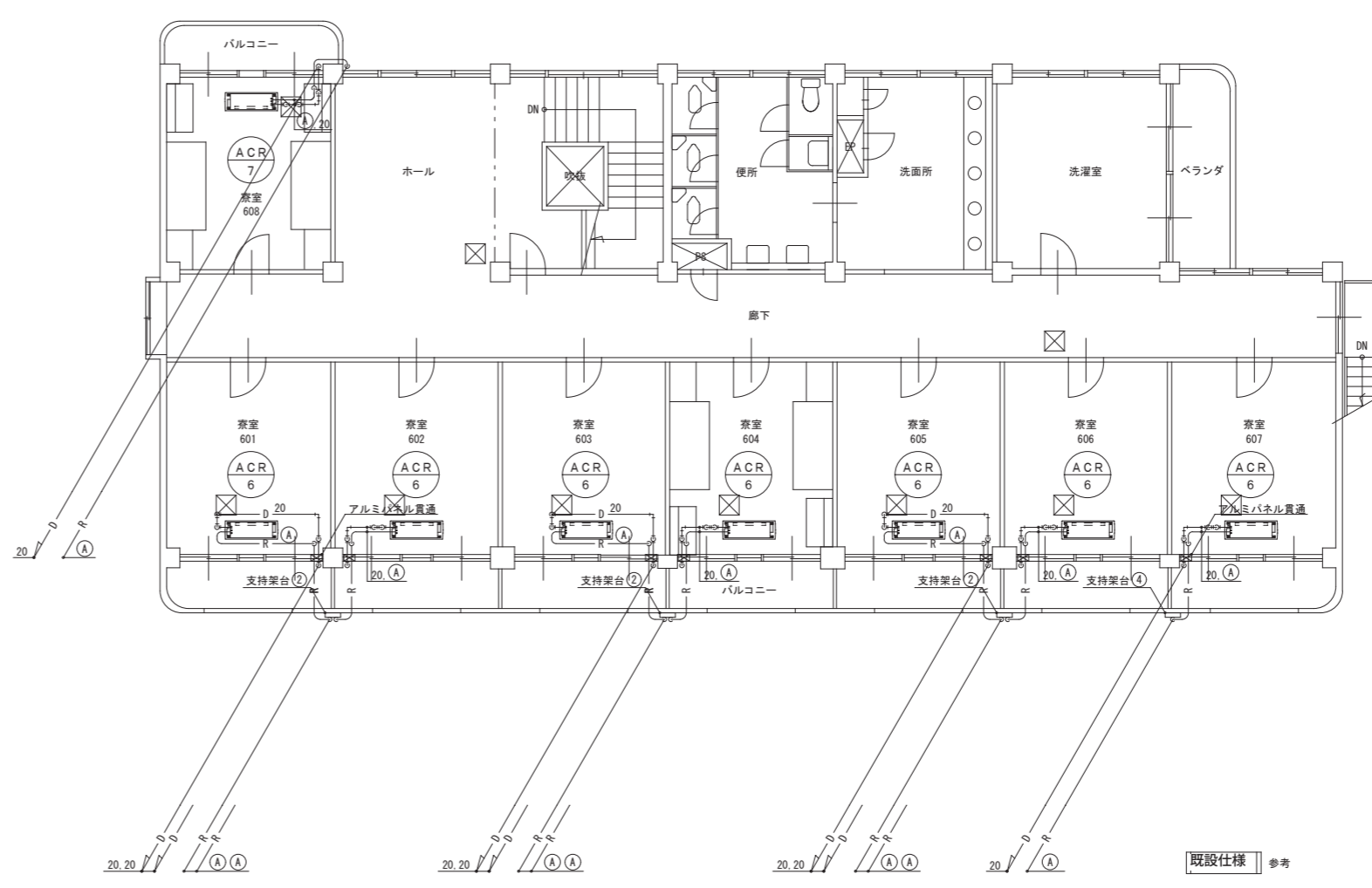
2階南側防水改修工事の為
AC室外機取外し再取付(14機)
配管用支持架台共

記号	液管 / ガス管
(A)	φ 6.35 / φ 9.52
(B)	φ 6.35 / φ 12.70
(C)	φ 9.52 / φ 15.88

ACR-4	MULZ GX2817AS (三菱電機株式会社)	7ヶ所
ACR-5	MULZ GX3617AS (三菱電機株式会社)	1ヶ所
ACR-6	MULZ GX2817AS (三菱電機株式会社)	7ヶ所
ACR-7	MULZ GX3617AS (三菱電機株式会社)	1ヶ所



冷暖房設備 女子寮1階平面図 S=1/150



冷暖房設備 女子寮3階平面図 S=1/150

既設仕様 参考

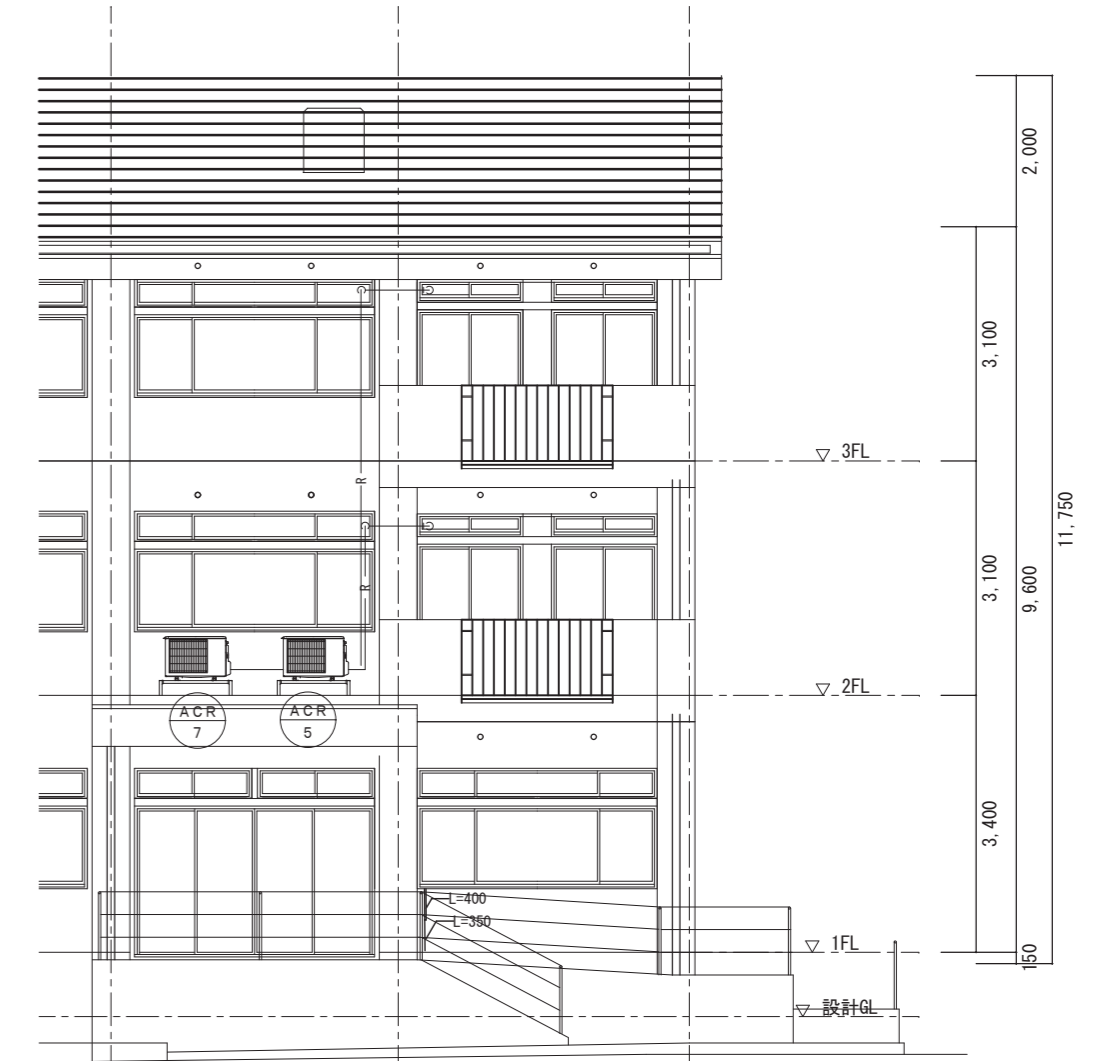
エアコンの室内外機制御線 (R-F2 0-3C)は冷暖管内巻
 屋内・屋外露出部の冷暖配管化粧は樹脂製化粧カバー仕上
 ドレン管の屋外露出部は保温材付ドレン管を使用し、冷暖管化粧カバー
 ドレン管の天井内及び屋外冷暖管化粧カバー内はV P管
 ドレン管の屋外露出部はカラーVP





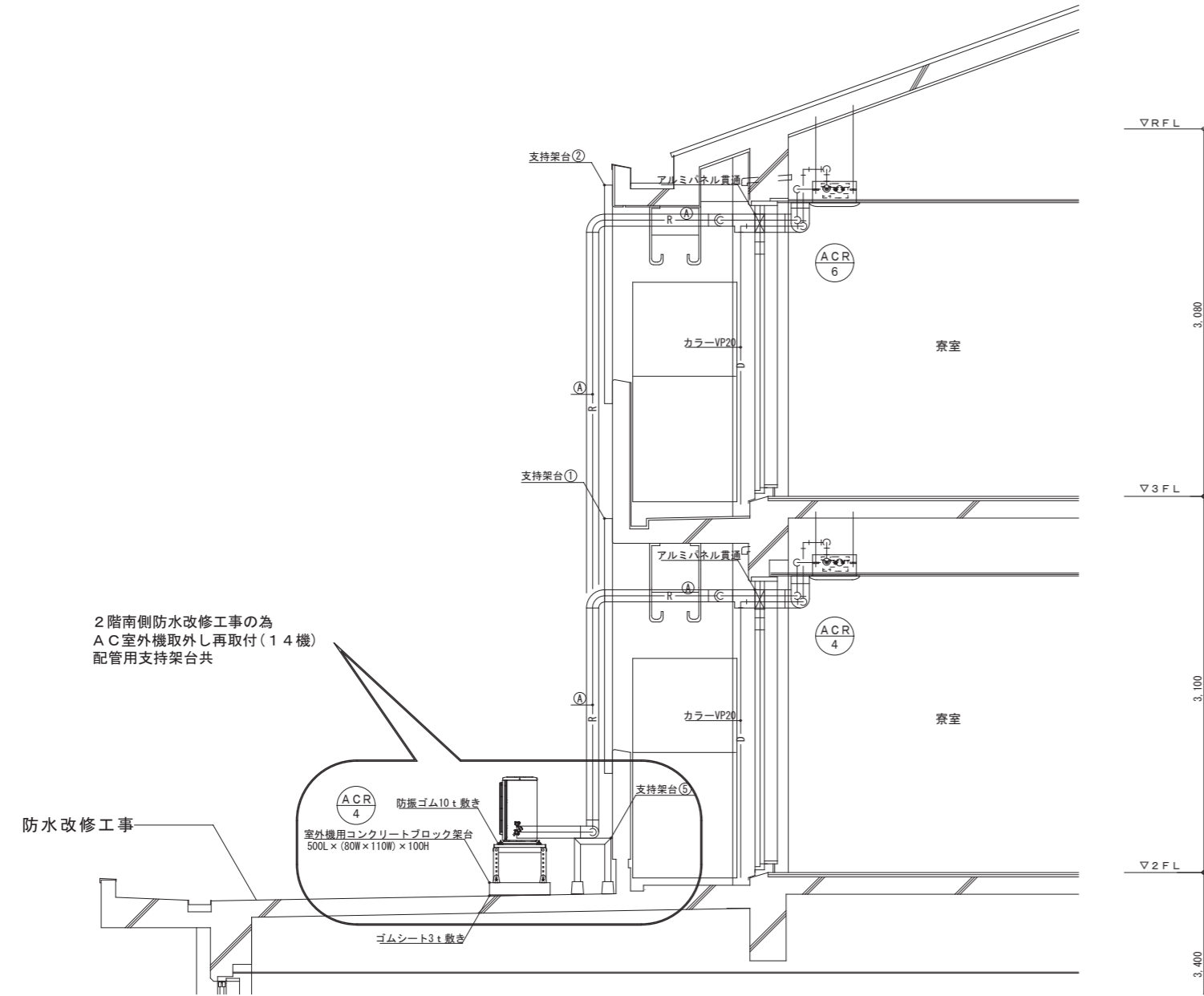
2階南側防水改修工事の為
A/C室外機取外し再取付(14機)
配管用支持架台共

冷暖房設備 女子寮(南)立面図 S=1/100



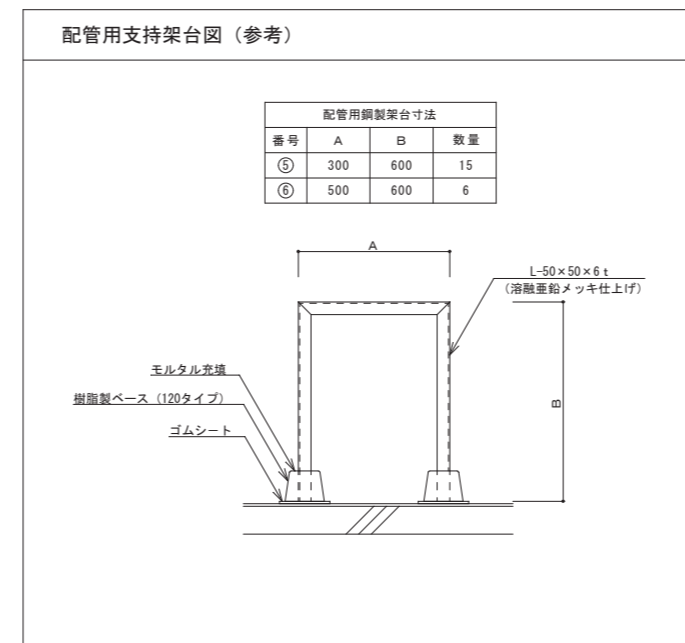
2階玄関庇防水改修工事の為
A/C室外機取外し再取付(2機)
配管用支持架台共

冷暖房設備 女子寮(北)立面図 S=1/100



冷暖房設備 女子寮断面図 S=1/50

室外ユニット (取外し、再取付け)			
ACR-4	MULZ GX2817AS (三菱電機株式会社)	7ヶ所	
ACR-5	MULZ GX3617AS (三菱電機株式会社)	1ヶ所	
ACR-6	MULZ GX2817AS (三菱電機株式会社)	7ヶ所	
ACR-7	MULZ GX3617AS (三菱電機株式会社)	1ヶ所	



Project 県立倉吉農業高等学校女子寮防水・外壁改修工事
Title 冷暖房設備 女子寮立面図・断面図他(参考図) S=1/100 S=1/50

Designed by 〒682-0814 鳥取県倉吉市米田町877-1

(有) エイディエム設計研究室
一級建築士 里見泰男 登録番号 第128367号
一級建築士 市村幹男 登録番号 第202784号
TEL 0858-22-7717 FAX 0858-23-5315



